

1 のりしおスタジオ『大妖怪、のじゃろり九尾を討伐せよ〜感度三千
2 倍調伏術で式神堕ちアクメ〜』

3
4 九天葛……遥か昔より恐れられる大妖怪『九尾の狐』。

5 大妖怪のネームバリュー&討伐報酬等から、常に陰陽師から狙われ
6 ながらも、その一切を寄せ付けない完全無欠の絶対強者。

7 それでいながら、彼女が行う悪事は『食い逃げ』『万引き』『人々
8 (悪人)を化かしたり』などと軽微な物ばかり。

9 殺生や重傷を負わせたり、街に火を放つ……などの凶悪な行いは一
10 切していない。

11
12 ・本来は温厚な性格である九天葛は、過去(二、三百年ほど前)にと
13 ある陰陽師と仲良くしていた。しかし、妖怪と交流するその陰陽師
14 は、同僚である他の陰陽師(主人公は男だと思っているが、女)によ
15 り謀殺されてしまう。復讐心に囚われた九天葛は、激情のままに暴
16 れまわり、首謀者一名を殺害してしまふ。

17 「あの頃の妾は馬鹿じゃった。後先考えず暴れ散らかせば、覆水が
18 盆に返るとでも思っておったんじゃろう。現実……そんな事をし

1 ても、死人が生き返るわけもあるまいに」

2 ・執拗に追い掛け回してくる主人公の事は、『やる気に満ち溢れた
3 見どころある青年』だと思っており、どこか稽古をつけてやるよう
4 な節すら見受けられる。

5 それはそれとして、鼻息荒くとびかかってくる主人公が仰向けにひ
6 つくり返って悔しさに奥歯を噛みしめているのを見るのが楽しく、
7 負かすたびにクソうつざい煽りをしてくる。

8 「え、お主……弱すぎんか？ ぷくくつ……なんぞ秘策があるだ
9 の、今宵こそ妾の命数が尽きるだの抜かしとったが……え？ 秘
10 策、どこいった？ もしや、妾の妖気に阻まれて霧散しおった、貧
11 弱な火炎術のことではないじゃろ？ え、涙目じゃけと……すまん
12 のう、アレ……じゃったか♪ ぷつ……ざつこ……♡ いつまでも
13 ションベンタレの弱虫小僧じゃのう、お主は……♡」

14
15 一人称『妾』二人称『小僧』『お主』笑い方『クハハッ』

16 男性器『男根』『陰茎』『肉棒』女性器『女陰』『膣』

17
18 主人公(あなた)……新進気鋭の若手陰陽師。センスはあるが経験不

1 足故に簡単な罠にかかったり、酷いミスを犯したりする。常に手柄
2 に飢えており、誰もが追うことを諦めた(凶悪な事件を起こすわけ
3 でもなく、圧倒的实力故に挑んでも勝ち目がない。複数人で挑んで
4 も、逃げに徹するだけで不毛だから)大妖怪、九天葛の討伐を目指
5 している。

6 ・絶対祓ってやる……！ と息巻きながらも、感情豊かな九天葛の
7 事を憎み切れない。外見だけなら死ぬほど好みだし、陰陽道一筋で
8 真面目一辺倒Ⅱ童貞の主人公は、精通もズリネタもいつも九天葛。
9 本人曰く『好意ではなく、己の分身Ⅱ肉棒に悔しさ・屈辱を刻み付
10 け、邁進するために行っている修行』だとか(苦笑)

11 ・九天葛にダメージを与えることはできていないが、ある日(プロ
12 ログ)、煽りムーブをしてくる彼女の尻尾を苦し紛れに握ったと
13 ころ「ひゃんっ!？」と思いの外可愛い声が飛び出たことに気づき、
14 それを最大限に活用すべく『感度三千倍調伏術』を思いつく。内容
15 はアホアホのアホだが、この若さでオリジナルの術を考案するのは、
16 千年に一人レベルの類まれなる才能がなければ成しえない偉業。

17
18 陰陽師の力『靈力』(陽)↑↓妖怪の力『妖力』(陰)

1 プロローグ…死闘！ VS 大妖怪九天葛！

2 （今度こそ倒したと思っていたが、全て幻だった……！ 結局無傷

3 の九天葛にこっぴどくやられてしまう）

4

5 SE…術同士が激しくせめぎ合う爆発音

6 SE…術を使用する音

7 SE…九天葛を圧倒する

8

9 （正面…中）

10 （息を切らし、苦戦している……フリ）

11 ぐっ…まさか、これほどとは…ッ…

12 ぐおっ…!!

13

14 SE…九天葛の防御術式を破る

15

16 （絶体絶命、降参…と見せかけて）

17 ……なっ…妾の防御結界が、破られて…っ

18 …ぐ…っ…

1 流石の妾も、年貢の納め時か…

2

3 …クカカツ…

4 腕を上げたのう、小僧

5 よくぞ人の身で…

6 それもその若さでこれほどの高みに辿り着いたものよ

7 安倍晴明の再来…そう目されるのも当然じゃな

8 …誇れ、小僧

9 大妖怪、九尾の狐…この九天葛様を、

10 独力^{ひとひから}で打ち滅^めぼした唯一の陰陽師よ

11

12 さあ…近^{ちか}う寄れ

13 最期くらい…術ではなく、

14 お主の手で…直接、首を跳ねてほしいのじゃ

15 …な？ 後生じゃから…頼む

16

17 SE：主人公、のこのこと近づく

18

1 (正面：近)

2 …っ…

3 …お主は、仇敵である妾の願いをも、
4 聞き届けてくれるのじゃな…

5 …強いだけでなく、優しい子じゃ…

6 …本当に、じゃからこそ…惜しい

7 …相変わらずお主は…

8
9 SE…ボンツ、と目の前の九天葛が消える
10

11 (右：密着 無声囁き)

12 すぐ騙され、化かされる…

13 詰めが甘い青二才、じゃな…♪

14 ほっ…！

15
16 SE…指をパチンと鳴らす

17 SE…炎↓氷↓雷↓風と、高威力の術を連続でお見舞いされる

18 SE…主人公、高く打ち上げられた後ドサリと地面に倒れる

1

2 (正面：近)

3 ……ぷっ…ぷくくっ…クカカカカッ♪

4 立てないか？

5 立てぬよなあ…♪

6 防御の札も、防護結界も解いて…

7 ゆ・だ・ん…しきってたものなあ♪

8 ぷっ…ぷくく…残念じゃったのう、小僧…♡

9

10 SE…目の前にしゃがんでくる

11

12 (正面：密着 有声囁き)

13 また妾の勝ち…♡

14 お主の負け…♡

15 やーいやーい、ザーコ、弱虫陰陽師…♪

16 クカカッ…♪

17

18 SE…主人公、睨むように顔を上げる

1
2 (正面：近)
3 おお、怖い怖い…♡
4 これ、荒くれ者のような目つきで睨むな
5 妾は年上じゃぞ？ 年長者は敬うべきじゃろって…♪
6
7 それに、負け犬が勇んで見せても滑稽なだけじゃぞ？
8 相手取っているのが、妾の分身…
9 それも尻尾一本分程度の妖力で作った、
10 しょぼーい分身だとも見抜けず…
11
12 (「」内は、主人公の物真似。キザに、かつこつけてやることで、
13 ウザさを倍増させてほしいです)
14 お主ときたら得意げに勝ち名乗りを上げて…
15 なんじゃったかのう？
16 「九天葛、あの世でも忘れるなく、
17 貴様を祓った偉大なる陰陽師の顔を」…じゃったか？
18 のう、のう、合ってるか？

1 一言一句たがわず合ってるか？ のう、のう…♪

2

3 …お？ 目が潤んでるぞ？

4 泣くか、泣くのか？

5 ちっこい婆さんに負けて泣いてしまっのか？

6 …おお、堪えたか…昔なら泣いてた場面じゃろうに、

7 成長したのう…しみじみ…

8 …まあそれはそれとして、

9 敗者に何の罰も与えないというのは…

10 虫が良すぎるからのう

11 …今回の罰は…くふふっ…こんなので、どうじゃ？

12 んしょ、んしょ…下駄を、脱いで…っ…ほっ…！

13

14 S E…下駄を脱ぎ、生足

15

16 ほれ、可愛い妾の足裏はどうじゃ？

17 ちぞや眩しいことじゃろう？

18 …仕方ないのう、そんなに物欲しげに見つめるなら…

1 んっ…

2

3 SE…顔を踏み踏み

4

5 お主の、小生意気な顔を…ふみふみ、ふみ…

6 足裏で、ふみふみしてやるのじゃ…♪

7 おーおー、情けないのう、お主はっ…

8 踏まれて、鼻息が荒くなっているのではないか？

9 …よもや悦んでいるのではなからうな？

10 妾のような小さい肉体で欲情する、

11 倒錯趣味の変態か？

12 クカカツ…♪

13 これくらいにしといてやるか…♪

14

15 SE…ふみふみやめ

16

17 …ふー…

18 それにしても…お主も懲りん奴じゃのう

1 当代最強だとか持て囃されて、勘違いしてるようじゃが…
2 お主では妾には勝てんよ
3 力量もそうじゃが、経験の差…
4 生物としての『格』が違いすぎる
5 お主が妾に挑み始めてから…
6 もう…十年は経ったか？
7 少しは腕を上げているようじゃが…いまだ妾に、
8 一撃を入れることすら能^{あた}わず…
9
10 (ううは、過去を思い返しセンチメンタルになっています)
11 …ほんと、人間って雑魚じゃのう
12 如何に研鑽し、力を磨き、策を練ったとて…
13 …たった一回の過ちや敗北で命を落とす…
14 げに儚い生き物よ
15 ……
16
17 (誤魔化し、より一層煽る)
18 おとと、お主が弱すぎるあまり、感傷的になってしまったのじゃ

1 吹けば飛ぶような脆弱な命が、嘆かわしくて嘆かわしくて…
2 およよ…

3
4 …ああ、本当に…いつになったらお主は妾に勝てるのかのう？
5 あと百年、いや千年…

6 寿命、足りなさそうじゃのう

7 …はあ…

8

9 …全く、今宵こそはもしや…と期待してみたが、
10 とんだ肩透かしじゃな

11 お主…戦闘前に『奥の手』がどうか言っておったじゃろ

12 奥の手、どれじゃ？

13 使ったか？

14 使ってたらすまんのう、雑魚過ぎて分からなかったわ！

15 クカカカカツ、カカカツ！

16 今宵も妾は最強じゃ！

17

18 (づ)機嫌な鼻歌。メロディはお任せします)

1 妾は最強〜…♪

2 しかも可愛い〜…♪

3 最強可愛い妾〜…♪

4 油揚げより団子が好き〜、そんなお茶目なお狐じゃ〜…

5 …ん？

6 なーにをしておるか

7

8 S E…手を踏みつけられる

9

10 はあ…バレぬとも思ったか？

11 ごこそそ印を結んで…

12 妾の不意を衝いて、奥の手とやらを使う気じゃったか？

13 …そう易々とはさせ…

14

15 S E…術式が発動する音

16

17 …!?

18 な、何故じゃ!?

1 印は途中だったはず！
2 あんな略式の印から発動できる術なぞ、
3 陰陽道の術多しといえど存在せぬはず…！
4 なんになぜ、術が発動しておる…!?
5 …っ…
6
7 …なんじゃ、その不敵な笑みは…
8 ま、まさかお主…
9 編み出したのか!?
10 自ら新しい術を…っ…
11
12 …くっ…クカカツ…♪
13 面白い…その若さで新術を編み出すとは…
14 安倍晴明以来の逸材は伊達ではないか！
15 …なら、見せて見よ！
16 お主の本領、存分に発揮するがよい！
17 この九天葛、逃げも隠れもせぬ！
18 全身全霊で掛かってこい！

1
2 SE…術が成立し、結界が構築される

3
4 ……ほう、結界術か

5 ふむ…見た目は普通の結界じゃのう
6 違いと言えば、

7 外から見えぬように、遮光結界が多重で掛けられているぐらいか
8 ふむ…ん？

9
10 ……なんじゃ？

11 おかしい…妖力が…上手く練れぬ

12 それに…んっ…

13 身体の節々に、違和感が…んっ、く…

14 はあ、はあ…

15 なんじゃ…？

16 身体が、やけに火照って…はあ、はあ…ふー…
17

18 SE…主人公、立ち上がる

1
2 …はあ、はあ…
3 …反対にお主は、随分元気そう、じゃのう…
4 なるほど…妾を弱体化させ、
5 妖力を己が靈力に変換して取り込む…
6 自らに都合のいい状況を強制する、
7 それがこの結界の真価か
8 なるほどなるほど、よく考えられておる…
9
10 …じゃが
11 既に術の解析は終わったぞ
12 くく…クカカッ…♪
13
14 (得意げに見破ったり！な態度の九天葛ちゃん。前振りです)
15 結界術に限らず、未知の術の強みはその秘匿性の高さにある
16 ならば、解析して丸裸にしてみえれば他の術と同じよ
17 かなり精巧かつ複雑に編んだようじゃが…残念じゃったな♪
18 妾の前では、簡単な寄せ木細工も同然よ…

1 どれどれ…

2
3 …この結界は、

4 対象が今まで犯した罪が重ければ重いほど弱体化し、

5 その分術者の肉体・霊力を強化します…

6 …罪の重さが条件か、なるほどなるほど…

7
8 ただし、このままだと術者に有利過ぎる結界となり、

9 成立・維持が困難となるため、

10 術者側から直接的な危害を加えることを禁ずる縛りを科す…

11 破れば術者の肉体に反動が還り…最悪、死に至る…か

12 ふむ、順当な縛りじゃな

13 格上相手でも術を成立させるためか

14 中々工夫してるとるではないか

15
16 …ん？

17 …しかし、どういってじゃ？

18 それでは、妾の身体が…はあ、はあ…

熱病に侵されたように、

変調を来たしているのはどういう理屈で……

何々

…より一層、危害を加える手段を奪うために…

この境界内では、痒いがくすぐりたいに、

くすぐつたいが…気持ちいいに変換される…？

$$\vdots$$
[illegible]

その際、罪の重さに応じて感度が上昇する：

その最大値は：

!?

な……まさか……これは……っ……！

SE..主人公、九天葛に近づく

…っ…ち、近づかない！

1 …お主が、んっ…歩きたびに、
2 あっ…く、空気が、揺れて…
3 ふぐ…こ、呼吸もするな…あっ…
4 つく…う…に、匂い…男の、匂い…
5 きゅ、嗅覚まで、敏感に…っ
6
7 (正面…近から正面…中へ移動しつつ)
8 …ぐっ…こ、これは…
9 くっ、やむをえまい…ッ
10 結界の外へ逃げてやる！
11 こんなばかばかしい余興に付き合ってる暇は…
12
13 SE…高まった霊力により出力が上がった拘束呪符で捕縛
14
15 (正面…中)
16 なっ…！
17 つぐ…呪符が…荒縄のように、手足を縛って…っ
18 ぐっ…なんの、これしき…うー、うー…ッ…！

1 つぐ…あつ…んっ…

2 SE…主人公、徐々に近づく

3

4 (正面…中から正面…近)

5 は、肌、擦れ…ッ…力、入らなく…

6 う、動けな…

7 あ、つぐ…う…

8

9 SE…目の前に到達した主人公

10

11 (正面…近)

12 つ…！

13 …っ、小僧…ッ…やめろ、やめるのじゃ！

14 わ、妾にこんな無様な恰好をさせて…っ

15 こ、これ以上しでかしてみろっ…！

16 た、ただではおかぬぞ！

17 …あ、おいつ、動くな…！

18 …今、あ、感度、うっ…上がって、うっ、あつ…

1 まっ、ダメ…あっ、っぐ…

2

3 SE…尻尾をむぎゅり

4

5 (正面…密着)

6 ごっ…オッ…!

7 がっ、あっ…ああ…ッ…?

8 尻尾…う…尻尾、むぎゅって、掴まれて…

9 あ、あ…お…お…ッ…

10 …う、う…毛先、もふもふ、あっ、っご…オッ、お…ッ…?

11 なんかくる、くる、あっ、おっ、んっ、っぐ…う…

12 …嫌じゃ、いやじゃ、人なんぞに、おっおっ、っぐ…

13 んっ、おっおっおっ…くく…ッ…

14

15 SE…潮吹き

16

17 (悔し気な余韻才木と痙攣吐息)

18 んぐおっ、お…ッ…おっお…お…ッ…

1 がつ、お…ッ…ん、おおお…
2 ほー、ほー…
3 ふー、ふー…
4 ぜえ、ぜえ、ぜええ、ぜえ…
5 はあ、ああ、はあ、はあ…
6 んう、う…あ、あ…？
7 うう、う…つぐ…う…うう…
8 はあ、はあ…
9
10 (正面…密着)
11 …こ、この九天葛が…あろうことが、し、失禁、じゃと？
12 はあ、はあ…っ…
13 …う、う…なんたる、屈辱…！
14
15 …こ、この、卑怯者めっ…！
16 はー、はー…解除、しろ…っ
17 これ…
18

1 (正面…密着 有声囁き)

2 感度…妾の、身体…

3 感度三千倍…結界の最大値、超敏感に、

4 なってる、かりゃ…

5 へ、変な事、したら、

6 ぶ、ぶっころ…アッ!?

7

8 SE…尻尾をむぎゅり

9

10 おっ、おおおおお…ッ…

11 また、尻尾…二本同時…

12 九分の二尻尾掴まれて、

13 あっ、あっ、くる、くる、

14 オッ、んっ、オッ、おおおおお…く…く…ッ…!!

15

16 SE…潮吹きフェードアウト

17

18 トラック2…お狐まんこ危うし!? 感度三千倍マンほじ拷問!

1 (三千倍なんて、よほどの罪じゃなきゃならない。そんな大罪人、
2 許せない…鉄槌を下す！ 罪を懺悔しながら詫びてイケ！)

3
4 (正面…近)

5 (潮吹きのせいでゼーゼー荒い吐息)

6 ふぐーっ、フーッ、ふー、ふしゅー…ッ…

7 がっ、あっ…はあ、はあ…はああ…ッ…

8 フーッ、フーっ…つぐ、うっう…ッ

9 …この、九天葛が…ッ…

10 千年の長き時、恐れられし…最強の一角が…

11 ふしゅー、フーッ…

12 こんな、ふざけた術なんぞで…っ

13 はあ、はあ…はああ…ッ…

14 つぐ、う…ますます、力が入らなく…

15 はあ、はあ…体液と、共に、妖力が抜けた、か…？

16 ふー、ふー…見た目以上に、厄介な術、じゃ…ッ！

17
18 はー、はー…っ

1 やめろ、小僧…今すぐこの術を解くのじゃ！
2 さもないと…

3

4 （本気の眼差しに、一瞬たじろぐ）

5 …ッ…な、なんじゃ、その目は…？

6 …怒り…いや、哀しみか？

7 複雑な表情…しおって

8 …は…は…は…

9

10 …？

11 最大倍率…三千倍になるなんて、思ってなかった…？

12 …ああ、罪に応じて感度が上がる…だとか、

13 なんとか…ふむ

14

15 なるほど…合点がいったぞ？

16 お主…妾を見くびっておったのじゃな？

17

18 強力な妖怪とはいえ…食い逃げに万引き…

1 あとは精々人を化かし、驚かせるのが関の山…

2 大した悪事など働いていない口だけ妖怪…

3 そう思っておったのじゃな？

4

5 …愚か者が

6 妾は…間違いなく悪鬼の類よ

7 人を喰らい、犯し、奪う…

8 そんな連中と何ら変わりはない

9 …お主ら陰陽師の怨敵じゃ

10 祓うべき相手を見誤れば…お主、死ぬぞ？

11

12 は——は——

13 …なんじゃ、酷い顔じゃな

14 …妾を、偏屈なだけの婆さんだとも思っておったか？

15 話せば分かる…命まで奪う必要はない

16 そう考えておったのか？

17

18 (昔を思い返すも、大切なその感情に背を向ける)

1 …優しいと言えば聞こえはいいが…甘いな
2 そんな甘さが心地よかった頃も、
3 あったやもしれぬが…今は、反吐が出るだけじゃ
4 …甘さでは…何も変えられぬ
5 変革には…力がなければ…
6
7 …はあ、はあ…
8 …もう、問答はいいじゃろう
9 …ここまでの術を仕込んでおったんじゃ
10 どうせ…陰陽寮に増援を要請しておるんじゃろ？
11 すぐに精鋭共が包囲して、
12 結界を解除した途端にズドン…
13
14 …流石の妾も…この弱体化した状態で、
15 多勢に無勢を相手取るのは…ちときつい
16
17 …そうなれば…妾は、どこの馬の骨とも知れない陰陽師に、
18 殺されるんじゃろう…

1 …そうなるくらいならば、せめて…
2 …はあ
3
4 …おい、小僧
5 分かった
6 どうやら…詰みのようじゃ
7 はー…はー…
8 わ…妾の負けでいい
9 ついさつき化かした舌の根も乾かぬうちに…
10 と思うか？
11 …嘘だと疑うのなら、契約してもよい
12 破れば死ぬ、そういう契約をな
13 じゃから、今度こそ…頼む
14
15 (好きとかではなく、見所のある主人公に殺された方が悔いがない)
16 …お主の手で、妾の首を跳ねてくれぬか？
17 どうせ…持ってるんじゃない？
18 結界の影響を受けない、呪具…

1 一人でも…妾を殺すための手段を

2
3 散々からかい、化かしてきた妾の言なぞ信じられぬじゃろうが…

4 …本当に、お主は才に溢れておる

5 順当にいけば…清明をも超えるじゃろうて

6 …そんな、歴史に名を残すであろう大陰陽師になる…

7 お主の手柄として…宿敵として散りたい

8 のう…ダメか？

9 …長年しのぎを削ってきた仲ではないか

10 最期くらい…願いを聞き届けてはくれぬか…？

11 ……

12
13 SE…近づく音

14

15 (正面…密着)

16 (完全に死を受け入れる構え)

17 …ありがとう

18 …死にゆく老人の願い、聞き届けてくれるのじゃな？

1 …お主は…力なき人々を思い、
2 戦を厭い…他者のためにこそ力を振るう
3 そんなよい陰陽師となることじやろう
4 ……さあ、妾を…
5 お主の糧としてくれ…
6 …んっ、く…
7
8 SE:くすぐる
9
10 …ふつぐ…んっ、がっ…んっ、
11 腋の下…手でまさぐって、何を…っ
12 …んっ、あっ、がっ…んっ、
13 くっ、がっ…くすぐった…んっ、っう…んっ、
14 ああ、あ…？
15 違う、これ…くすぐったいの、
16 超えて…んっ、つぐっ、がっ、あっ…
17 …うっ、お、お…ッ…っぐ…
18 や、やめんか、小僧…！

1 …び、敏感腋、こちよこちよ、
2 こちよこちよするでないっ…！
3
4 んぐっ、ふおっ…がつ、あっ…
5 んっ、あっあああ…ッ…
6 やめ、そんなに、されたら、またっ…
7 つぐっ、うっ、がつ、お…ッ…
8 い、嫌じゃ嫌じゃ、人の子なんぞに、
9 つぐおっ、おっ…あっ、がつ…
10 う、あ、あ、あ…ああああ…くくく……ッ…！
11
12 SE：ぷしゃくくw
13
14 ぐおっ…っほ…お、おおおお…ッ…
15 お…ッ…お…ッ…あ、ああああ…ッ…
16 うあ、あ…ああああ、あ…あ…？
17 はー、はー、はあ、はあ、はああ…ッ…
18 ふうっ、ふうっ、ふー…ふうっ…ッ…

1 …ッ…う、う…
2 こ、小僧、めが…！
3
4 （最期の願いを裏切られたと思い、憤慨）
5 …こ、これは一体、どういつ了見じゃ…！
6 はあ、はあ…っ
7 …敗北を…死を受け入れた相手を、
8 更に辱めるつもりか！?
9 …この…っ…
10 殺せ…っ…こんな…っ…
11
12 ふー、ふー…ッ…
13 淫売のように、痴態を晒すくらいなら…
14 はあ、はあ…さつさと死んだ方が、マシじゃ…ッ…
15 この…よくも、妾の想いを踏みにじったな…！
16 …少しは見どころがある奴だと思っておったのに…
17 裏切り者…裏切り小僧、が…ッ…！
18 はあ、はあ…

1 …？

2

3 殺す前に…知りたい…？

4 …犯した罪を告白して、悔い改めるまで…

5 お仕置きする…っ？

6

7 な…っ

8 …っ…！

9 おい、やめろ…やめるのじゃ…！

10 …手…どこに伸ばしておるっ…！

11 …そこは…あっ、っぐ…

12

13 S E …服を破く

14

15 …がつ、ああああ…！

16 服…破かれ…うっぐ…ふおおおっ…お…ッ…

17 …ま、まずっ…

18 …霊衣…夜なべして妖力編みこんだ、

1 特別な服、ないと…おっ、おお…
2 外気に直接、敏感肌が晒されて…ぐおっ、おっ…
3 …あっ、っう…
4 身動きするだけで、達しそくに…ッ
5 フーッ、フーッ、ふしゅーっ…！
6
7 はあ、はあ…あ、あ…？
8 や、やめろ…やめてくれっ…！
9 …い、今…さ、触られたら…ッ
10 あ、バカ、やめ—
11
12 SE…胸をさわさわ
13
14 (胸に触られ、かなりだらしない無様喘ぎ)
15 んぐおおおおっ！
16 おっ、おっぐっ、んぐオオオオオッ…!!
17 がっ、オッ、んうおおおおっ、
18 おぐっ、っほおおお…!!

1 がっ、あっ、ンオオオオオッ…！
2
3 ち、乳房…おっおっ…
4 童女程度のふくらみしかない、子供乳、おっおっ、
5 んっおおお…ッ…
6 印を結ぶみたいに、くねくねさわさわ、おっおっ、
7 んっおおおおお…ッ…！
8 き、気が狂うう…おっ、んおおおお…ッ…！
9 がっ、あっ、うッ、あああ…ッ…！
10
11 ぜー…、ぜー…ッ…ぜー…っ…
12 や、めろお…！
13 そんなとこ、自分でも、水浴びの時くらいしか、
14 触らない、の…！
15 おっおおおお…！
16 …小僧なんぞに…っ
17 青臭いガキ、なんぞに好き勝手、おっ、っぐおおお…っ
18 おっ、おおおおお…ッ…！！

1

SE…潮吹き

2

3

おっおっ、んおおお…!!

4

…絶頂、したっ！

5

ぷしゃって、聞こえんかったのか、腐れ耳がっ…！

6

おっおおおお…ッ…！

7

指止めろ、これっ、今すぐ、乳を撫でるのを中止せい…っ！

8

フーッ、フーッ、っぐっ、あっ…!?

9

10

SE…乳首ぎゅむっ

11

12

13 ふっぐっうっうっうっうっうっうっ!?

13

14 がっ、んぐおおおおお…ッ…！

14

15

SE…盛大な潮吹き

16

17

18 んぐおっ、おっ、がっ、ああおおお…ッ…！

18

1 …突起…乳の突起、ぎゅむって、あ、ああ…？
2 …おっおおお…？
3 …こ、これは…生まれ故郷？
4 …お、お…ツ…？
5 一面金色の、ススキ畑が広がって…
6 あっ、あ…がッ…
7
8 S E …乳首弄り倒す
9
10 おっおっ、んおっ、おオオオオオツ♡
11 おっおっ、んぐオオオオオツ♡
12 あっあっ、がっ、あっ♡
13 ぜんぜん、違ったっ♡
14 畑じゃなくて、地獄っ、乳首まさぐり地獄じゃああっ♡
15 んおっ、おっ、んぐおっ、オオオオオオツ…！
16 おっおっ、んっ、おおおおお…ツ…
17 やめ、やめんかあっ…
18 乳首、こねこね、おっおっ、んっお…ツ…

1 そんな、執拗にこねくり回され、たりやつ…
2 あっあっ、つぐつ、う…おっ、お…ッ…
3 ち、乳首、ぐるっ…くる、くる、あっ、がつ、
4 何か、あっ、押し寄せて…ッ、うあっ、オッ、
5 んっ、つぐ、う…がつ…
6 あああああ…くく…ッ………！

8 SE…母乳が噴き出す

9
10 (妖怪なので、刺激すれば母乳が出る体質らしいです)

11 あっ、があああ…!?

12 あう、おっ、んおっ、おおおお…ッ…

13 ふう、お…ッ…フ…ッ、フ…ッ…

14 ぜええ、ぜえ…ぜえ、ぜええ…ッ…

15 はあ、はあ、はあ、はあ…

16 ふしゅー…、ふしゅー…、ふー…、ふー……ッ…

17 つう、う…あ、あああ…ッ…

18

1 こ、これ…母乳…ッ…!?
2 なんてお乳、出て…っ
3 …はあ、はあ…つく、う…
4 ち、違う…妾、孕んでるとかではなく…っ
5 はあ、はあっ、妖力っ…
6 お主の結界のせいで、妖力っ、
7 母乳になつて漏れたんじゃ、そうに決まつて…
8 …お、おいお主…?
9 な、何を鼻息荒くして…
10 …へ、ちよっ…!?
11
12 (母乳を吸われ、感じてしまつ)
13 つぐっ、う…!?
14 あ、うあああ…ッ…!?
15 あっ、あっ…ば、っ…んうっ…ッ…♡
16 こ、こら…気でも、触れたのか…ッ!?
17 はー、はー…ッ…
18 妾の、母乳…っ…乳首に吸い付いて、ちゅーちゅー、

1 勝手に授乳、するなあっ…！
2 んぐっ、うっ…うま、うまとか言われても…
3 う、嬉しくないのじゃあっ…！
4 おっ、んっ、おっ、おおお…ッ…！
5 …待て、そんな、吸ったら、ますます、オッ、
6 力、ぬけてっ、ぞわぞわに、溺れっ…
7 ふぐっ、うっ、うっ、う…
8
9 SE…やめてあげる
10
11 (許してくれたと思い、安堵)
12 はあ、はあ、はああ…
13 …あ、あ…？
14 …なんじゃ、お主…やけにあっさり、
15 引きさがるんじゃな
16 …ふー、ふー…ッ…
17 …そうか…正気に戻ったか
18

1 …まあ、妾は海より深い懷の持ち主じゃし？

2 いかにも女慣れしてない…いや、

3 女体なんぞ一切見たことないであろうウブなお主が、

4 妾の美しい肉体に劣情を催したことについては、

5 仕方ない

6 不問としてやることに…

7 …つて、おい…？

8

9 S E …下も脱がせる

10

11 お、おわああっ!?

12 …袴…袴脱がされたのじゃあ!?

13 この、追いはぎっ！

14 か弱い老婆の衣服を剥ぐなぞ、

15 人としてあるまじき行為…つて、おい…？

16

17 …な、何を…妾の、陰部…

18 女陰なんぞをまじまじ眺めておる!?

1 …ころら…っ…鼻息が…んっ…

2 感度、だめ、そこは…流石に…っ

3

4 SE…指で擦る水音

5

6 んぐっ…あっ、お、っぐ…!!

7 まて待て、ダメじゃ！

8 …頼む、後生じゃから、そっ、そっはやめ……

9

10 SE…指挿入

11

12 (情けない喘ぎ)

13 おっ、おおおおおお…くく…ッ…♡

14 んおっ、んんおおおっほおおお…♡

15 …ふ——、ふ——…

16 …イツ……ふ——…

17

18 SE…盛大な潮吹き

1

2 は——、は——…

3 が、あ…？

4 うあ、あ…？

5 お、お…ツ…？

6 は——、は——…つぐ、う…!?

7

8 SE…手マン激しめ

9

10 おつ、おおおおお…ッ…！

11 おつご、ンオッオオオオオ、オオッ♡

12 うぐあつ、おつおつ、んうおつ、おつ、

13 んぐうほおおおッ♡

14 がつ、あつ、あつ、あつ♡

15

16 性器、ぐちゅぐちゅって、おつおつ、

17 荒っぽくかき混ぜられてえっ♡

18 おつおつ、ンッ、ッオオオオオオッ…♡

1 身体、ビリビリっ、血潮が、駆け巡ってっ…

2 おっおっ、んうおっ、おぐおっ、ッほおオオオオッ♡

3 あっおっ、んうおっ、オオオオオオッ…♡

4

5 このっ、この…ッ…♡

6 …おっおっ、んっ、おおおお…っ…

7 妖怪相手に、欲情して我を失う、変態小僧っ…

8 おっおっ、んっおおお…ッ…

9 童貞陰陽師…があ…！

10 おっおっ、んっ、おっ、うおっ、おおおお…ッ…

11 あっ、あっ…おっおっ…！

12

13 SE…手マン最速

14

15 がっあっ、オッオオオオオオッ♡

16 激しっ、おっ、おっ、んっおオオオオッ♡

17 こんな、激しっ、気持ちいいの、連続っ♡

18 おっおっ、んっおオオオオッ、

1 妾、死ぬっ、死ぬ、かりやつ、

2 おっおっ、んっおっ、おぐっ、おっ、

3 あっおっ、んうおっ、オオオオオオッ…♡

4

5 おっおっ、あおっ、オオオオオッ♡

6 全身、おっおっ…弛緩して…おっおっ、

7 下腹、熱いッ、おっおっ、んっおお…♡

8 あっあっ、んっ、おっ…くる…♡

9 おっお…今までの、比にならないっ♡

10 熱の塊、おっおっ、こみ上げてっ、

11 おっおっ…いつぐ…おっ、おっ…んっつぐ…

12 あッ…んっ、おっお、おお、おおおお…くく…ッ…♡

13

14 SE…盛大過ぎる潮吹き

15

16 (マジで死ぬんじゃないの？ ってくらいヤバ目な余韻オホ&吐息)

17 おっづっほおおく…ッ…♡

18 んぐおッ、おおおお…ッ…あがつ、おっ、

1 んうお、お、おおっほおお…ッ…
2 ぜー…、ぜー…、ぜひゅー、ぜー…
3 はー、はー、はー、はー…
4 ふぐ、うつつ、はあ、はあ、はあ、はあ…
5 んっ…う…うつつ…ッ…?

6
7 SE…身を離す音

8
9 (正面…近)

10 あ、あ…、あ？

11 …ッ…妾、生きてる…？

12 う、う…う…？

13 下半身…下半身ない？

14 なんも、感覚、ないのじゃ…っ…

15 はー、はー…はー…っ…

16 な、何回…達した…？

17 …どれだけの体液を、吹き零して…

18 う、う…う…っぐうっ…く…ッ！

1
2 さいっ…あくじゃ！
3 お主の術は、最低最悪じゃ！
4 相手を辱めて、精神的にいたぶり…
5 ついでに己の下卑た欲求を満たす…！
6 歴史上最悪の術じゃ！
7 はぁ、はぁ…っ…
8 …っぐ、うっう…
9
10 …？
11 …罪を悔いて、
12 反省したか…じゃと？
13 …す、す…するわけなからうがこんなので！
14 バカかお主は、バカなのか!?
15
16 性的拷問で丸く収めようなどと、
17 思春期男子めが…！
18 脳みそまで陰茎なのか!?

1 この、繁殖欲求桁外れ男めええ…！

2

3 …はあ、はあ…

4 もう、知らん！

5 反省も命乞いもしてやらん！

6 他の陰陽師が駆け付けるまで、

7 お主とは一切口を利かな…

8 …次…？

9

10 …おい、お主…今、なんと？

11 次とは一体…

12 …つて、あつ…？

13

14 …お、お主…なんじゃ、それは…

15 …ま、股の所…いい、陰茎が…

16 …山の如く隆起して…!?

17

18 ま、まさか…まだ…ぐ、拷問は…

1 ここからが、本番…？

2 う、うとうう…ッ…

3

4 トラック3…ロリババロまんこ、強制蹂躪射精気持ちいい〜w

5 (嫌がる九天葛の口を開口器で開け放ち、強制フェラ)

6

7 SE…霊符が勝手に動いて、九天葛を後ろ手で縛るような形に

8

9 (正面…近)

10 ぐっ…んっ…くそっ、霊符が、勝手に動いて…っ

11 んっ…縄でもないのに、器用な…ッ

12 つく…ぶ、無礼者！

13 妾を後ろ手に縛って、こ、今度は一体、

14 どんな悍ましい所業を…

15 …って…な、何を…

16 …陰陽師の正装…かりぎぬ狩衣をもぞもぞやって、何を…

17 って、のじゃあああ!?

18

1 SE..ちんぽ御ぼろんw

2

3 ひゃわっ、あっ…の、のじゃじゃああ…!?

4

…お、お主、脳をやられたのか、

5

あ、頭おかしくなったのかっ!?

6

…な、なぜに、妾の前で…

7

…そ、そんな…い、陰茎…っ

8

…そ、粗末で、汚らしいものを出しておるんじゃ！

9

10 とうか…くんくんっ…す——っ…

11

…んっぐ…お…お…ッ…

12

…ひっどい…匂いじゃ…

13

鼻が曲がってしまっ…っ

14

んぐ…っ

15

すんすん、す——っ…

16

17 んっ…おおお…ッ…

18 …は——、は——…

1 …きゅ、嗅覚もやはり、鋭敏に、
2 なってるのじゃあ…ッ…
3 んっぐ…う、ふー、ふー、フーッ…
4
5 …っ…
6 …う、う…ッ…
7 …お、お主…一体、その粗末な棒きれで…
8 何をしでかすつもりじゃ？
9 い、言っておくがなっ
10 妾がいくら可憐な容姿をしていて、
11 お仕置きという大義名分があるとはいえ…
12 …だ、ダメじゃぞっ？
13 困るのは、お、お主の方じゃぞ!?
14
15 …よ、妖怪との交わりは、
16 陰陽師の禁忌！
17 露見すれば即刻破門、
18 最悪打ち首に処されるぞっ!?

1 べべ、別につ？
2 こ、交尾なんぞ、へっちゃらじゃけど？
3 いくら感度三千倍になろうと、
4 お主のような純朴童貞陰陽師なんぞに遅れはとらんけど？
5 い、一応今まで目を掛けてやってたわけじゃし、
6 妖怪を襲って腹上死…なんて笑えないなーと、
7 思っただけじゃ！
8 …な？
9 じゃから、一旦思い直して…
10
11 SE：一歩近づく
12
13 (正面：密着)
14 (交尾なんてするつもりはない、と言い切る主人公)
15 …へ？
16 交尾なんて、最初からするつもりは…ない？
17 …う、嘘を申すな！
18 なら何故、わ、妾に…

1 猛り切った肉棒を近づけておるのじゃ!?

2

3 …っ…く、臭い、臭い…っ

4 はー、はー…はー…っ

5 鼻から、脳に…ふぐ…フーッ…

6 お主の匂いが、流れ込んで…

7 はぁ、はぁ…おかしく、なるのじゃ…ッ

8 ふー、ふー、ふー…ッ…

9

10 …罪を償うか、

11 これを…く、啜えるか、選べ、じゃと…?

12 …ふ、ふざけるな…!

13

14 償いじゃと?

15 食い逃げで迷惑を掛けた店で、皿洗いでもすればよいのか?

16 それとも盗んだ物を持ち主に返すか?

17 術で化かした奴らには…どうする?

18 妾を一度殴る権利でも与えるか?

1 それに…
2 …馬鹿馬鹿しい
3
4 …お主はやはり青二才じゃ
5 許されない罪というものを、知らぬ
6 …妾は…妾、は…
7
8 …いや、なんでもない
9 少し、考え事をしていただけじゃ
10 …それよりも…はあ
11 お主…罪を償うか…啞えろ、と申したな？
12 何じゃその選択肢は
13 後者に至っては、
14 お主の下卑た欲望を満たすためでしかなかるうが！
15 …っ…生意気に、き、屹立させおって…
16 …っ…こんなものを、口内に突き立てられたら…
17 わ、妾の小さい喉が、は、破裂してしまうやもしれぬ…
18 かくなる上は…！

1
2 …おい、小僧！
3 別に、お主がしたいのなら…いいじゃろう
4 特別に、妾の小さくて形のいい唇の間、
5 口内へ肉棒を挿入する許可をやろう
6 じゃが…
7 いいのか？
8
9 (正面…密着 有声囁き)
10 …妾、すっかりさんじゃからあ…
11 ついつい…がぶりと、牙を突き立てるやもしれぬぞ？
12 お主は巧妙に隠しておったつもりやもしれぬが…
13 この結界内で禁じられておるのは、
14 あくまでお主側からの暴力行為…
15 妾からお主に危害を加えることに関しては、
16 禁じられておらぬ
17 弱体化して、手も足も出なかつたが…
18 牙ぐらい出せるのじゃぞ？

1 クカカカツ…♪

2

3 SE…もぞもぞ

4

5 …どうした？

6 己の願いが叶わぬと知り、落胆しておるのか？

7 残念じゃったのう、八方塞がりじゃのう…♪

8 先ほどみたいに手で妾の柔肌を弄るくらいしか、

9 取れる手段、なくなつたみたいじゃのう…♪

10 やはりお主は小僧じゃな♪

11 まだまだ未熟、卵で例えるならば半熟以前の生卵じゃ！

12 クカカカツ、カーツカツカ…

13

14 SE…開口器を取り出す

15

16 …のじゃ？

17 …がしゃん…と、随分物々しい金属音が聞こえたが…

18 …？

1 な、なんじゃ、それは…？

2 やけに珍妙な形じゃな…

3 用途を悟らせず、不意打ちに用いる呪具か…？

4

5 SE…開口器を取り付けようとする

6

7 …つて、んっ…つぐ…お、おい…!?

8 …何、んっ…今、顔…頬も、髪も敏感じゃから、

9 さ、触る、なっ…んつく…うつ…

10 …い、陰茎臭い手で、触るなど言っておろうが！

11 つて、んっ、んぐっ、ん————っ…！

12

13 SE…片側装着

14

15 (片側の口を閉じられず、もぐもぐした喋り方に)

16 んむぐ…んっ…

17 く、口が、うまくとじられぬ…っ

18 ふぐ…んっ…

1 ま、ましか…っ
2 ふーっ、ふぐっ…
3 おぬし…っ
4 はあ、はあ…っぐ…
5
6 (正面：密着 有声囁き)
7 わ、妾の口を、ひらいたままに、ひて…
8 (開いたままにっっ)
9
10 …む、むりやりふえひゃせる、しもりか…っ？
11 (無理やり啜えちせるしもりか)
12
13 は、はったりじゃっ！
14 や、やれるものなら、やってみろよ…っ！
15 おぬしのような、いざっいっ、でれるはず…っ
16 …へっ…ちよ…
17 あっ、やめ——
18

1 SE：開口器完全装着♪

2
3 (もぐもぐと、くっから本トラックは意味のある言葉を喋れません)
4 んぐ…ん…ーッ…!!
5 はあ、は…ー…は…ー…ッ…
6 …っぐ…う…ひゃめ、りよお…ッ…!
7 …ゆ、ゆるしやな…っ…
8 ふ…ー…ふ…ー…ッ…っぐ…う…

9
10 SE：ちんちんをより間近に迫らせる

11
12 (じたばたともがき、ちんちんから逃れようとする必死な様)
13 …ぶぐ…ーっ…フ…ーッ…っぐ…う…ふ…ー…ー…ッ…
14 …ん…ー…っ、ん…ー…っ…!!
15 …んぐ…んっ、ん…ー…っ…!
16 …ぶぐ…んっ…っぐ…んっ、んぐぶっ、んっ…!?
17

18 (無理やり口内挿入される。息遣いから、上目遣いで睨みつけてい

1　るのが伝わってくると嬉しいですよ。以降、呼吸は鼻からしている感
2　があるのとよりリアルかもしれません）
3　…んぐ…んぐぶぶぶぶ…ンーーーーッ…!!
4　…んつぐ…んっ…んう…んつぐ…んっ、ンーーーーッ…!!
5　んふーっ、んふーっ…んう…ンッ…
6　フーッ、フーーーーッ…!
7　つぐ…んっ…んーっ、んっ…んぐぶっ…“う!?”
8
9　（最初から、ゆっくりではなくオーソドックスな強制フェラ。リス
10　ナーがのじゃろりをモノ扱いする背徳感に溺れられるようなティス
11　トをお願いします）
12　んっぐっ、ンーッ、んぐーーーーっ…!!
13　んじゅるるるっ、んっ、んーーーーっ、ぢゅっ、んぐぢゅっ、んっ、
14　んぢゅぞぞぞぞっ、ぢゅうっっっっっー!
15　んぐぢゅっ、ぢゅるるるうっっ、ぢゅびっびっ、
16　ぢゅぐぢゅぢゅぢゅうっっ、
17　ぢゅずずずっ、んっ、んうっー!
18　んぐぢゅっ、ぢゅぞぞぞぞっ、ンーーーーッ、んぐーーーーっ…!!

1
2 んふーっ、んーっ…!!
3 んぐちゅっ、ちゅんっ、ちゅっちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ッグッ…!
4 ぐっちゅっ、ちゅっ、んぐっ、んー…ッ…!
5 んぐちゅっ、ちゅんんんっ、んっ、んぐっ、
6 んぐっ、んぐっ、んっんっ、んぐんんんんっ、
7 ちゅっちゅうぐっ、んぐんんんんっ…んっ…
8 …ぐん!!
9
10 がっ、はっ、けほっ、んほっ…!!
11
12 SE…涎が飛び散る
13
14 …ぢゅー、ぢゅー……
15 …ふっ…ぐ…ウウウ…!!
16 …フーッ、フーッ…んぐっ、んっ…!?
17
18 SE…頭を掴まれる

1
2 ノー——ッ—
3 ノー——ッ—
4 んっっっっ、んっ…
5 んっ…!?
6
7 (より早く、容赦のない鬼畜フレ)
8 んっっググッ…!?
9 んっ、ん——ッ—
10 んぢゅっっっ、ぢゅんんん、
11 んっん、んっん、
12 んぢゅんんん、ぢゅんんん、んぢゅんんん、
13 んっん、んっん、ぢゅんんん、ぢゅん、
14 んっん、んっんんん、ん、んっっっ—
15
16 (我慢汁の分泌量が増し、口内の水分量が増えている。歯医者さん
17 で涎吸い取る器具を使わなかったらこうなるよね、的イメージ)
18 んっん、んん、んん、ん、ん、ん—

1 たゆたゆはらはらっ、ちゅちゅんんんん…!!
2 ちゅちゅちゅっ、んぐはっ、んんん、ちゅっ、ちゅっ…
3 ちゅんちゅん、じゅんちゅん、
4 ちゅんんんんん、ちゅんちゅちゅんんん…
5 ちゅんはらはらっ、ちゅん、ちゅんんん…
6 んっ、んぐっ…んっ、んっ…んぐ…ん…
7 …んぐ…がつ、あっ…!!

8

9 SE：潮吹き

10

11 (苦しい絶頂吐息)

12 はっちゅちゅ…んぐ…!!

13 はぐっ…ん、はぐっ…ん…!!

14 んぐんん…んぐ…んぐんん…

15 はぐっ…ん、はぐっ…ん…

16 ちゅ…ん、ちゅ…ん…はぐんぐ…

17 んぐんぐ…ちゅ…ん、ちゅ…ん、

18 ちゅ…ん…ん…はぐ…ん…!!

1 ぐむむ、んぐ…ん…がつ、あああ…ッ…

2

3 …ザーーー、ザーーー…ザーーー、ザーーー…

4 ふっぐ…う…っぐ…う…ッ

5

6 っふーーっ、んっふーーっ

7 っぐっ…うっうっ…う…う…！

8 …っぐ…う…!?

9

10 SE…後頭部をモノのようにホールド

11

12 …んぐ…!?

13 んっ、んっぐ…んっんっ、んっ…

14 …がつ…あっ…!?

15

16 (喉奥イラマ。相当苦し気かつ、嗜虐心を煽るように。ここが一段

17 回目で、フィニッシュ寸前が二段階目MAXといった塩梅です)

18 んっ、ん…ウウ…ウウウ…ウウウッ!!

1 つぐつ、んっ、んうぐつ、んー……んー！
2 ぢゅぞぞつ、ぢゅじつ、んぐぢゅつ、ぢゅっ!!
3 んぐぶぶつ、ぢゅぶぶっー！
4 んぐぶつ、ぐぶるるるっ、ぢゅじつ、じゅぞぞっー！
5 んぐぢゅつ、ぢゅつ、ぢゅっ、んぐぶぶぶぶっ、
6 んううらー！
7 んつぐつ、んーっ、んっ、んーっー！
8 んぢゅるるるっ、ぢゅびびびびっ、
9 ぢゅぐぢゅぢゅつ、ぢゅっ、
10 ングヂュツ！ ンッー！
11 んぐぶぶぶつ、んっ、んぐぶぶぶぶっ、
12 んっ…
13 ぶあっ……！
14 けほっ、ぐほっ…
15 ぜー、ぜー……んっんう!?
16
17 (咳き込んでいようが容赦しない、喉奥ガン突きイラマ)
18 んっ、んううらー……！

1 んぐー……
2 んっ、ぐぐーっ、んっ、ハー……
3 んぐんぐ、んっ、んっ、んっ、ググググッ！
4 ……んぐぐぐぐぐ、ググググッ、
5 ぐぐぐぐぐ、ググググッ、
6 ぐぐぐぐぐ、ぐぐぐぐ、グググッ、
7 んんん、ググググッ、
8 んぐ、ハー……、ググググッ！
9
10 (ちんちんの怒張具合から察知しているけれど、逃走叶わず口内射
11 精を吐く)
12 んぐんぐん、んぐん、んぐぐぐ、んぐ…
13 ぐん、ハハ！
14 ハー……、ハー……
15 んぐぐぐぐ、ぐぐぐぐぐぐぐぐぐぐ、
16 んぐんぐん、んぐ…ん、ん…
17 ……んぐぐぐぐぐ、ぐぐぐぐぐ…ハハ…ハハハ！
18

1 SE：口内射精

2

3 （大量に射精され、開きっぱなしの口では全部は飲み切れずボタボ

4 タ零す。窒息しないように、ある程度やむなしでぐっくん）

5 ングッ、ンッ、んー………ッ………ッ………！

6 …ッ…っぐ…んっ…っぐ…んっ…！

7 がぼっ…ぐぼっ…

8 …んぶ………んぶ………ッ…

9 っぐ…んっ…ぐっ…んっ…

10 んぶ………

11 フーッ、ぶ………

12 んぐむむっ…んっぐ…んぐ…っ

13 ……んぐっ…ぐっ…っ…

14 んぐ…んっ…んっぐ…

15 ……ぐあっ…

16

17 ……がっ…げぼっ、ぐぼっ………

18 ……ぐんぐん、うっ…ぐあ………、ぐあ………

1 つぐ…は——、は——…ッ…は——…ッ…！
2 …ふ——…ッ…ふ——…ッ…
3 んぐ…つぐ…？

4

5 SE…器具を外す音

6

7 （何はともあれ、まずは酸素を求めて呼吸）
8 …かつ…

9 は——、は——…は——…

10 す——…は——…

11 ふ——…ッ…

12

13 …こ、この…っ

14 知識と実行力だけは一丁前の、童貞小僧めがあ…！！

15 …わ、妾の口を…喉を、胃を…

16 わが物顔で埋め尽くしておって…

17 つぐぬぬ…さいっ…あくの気分じゃ！

18

1 …はー、はー…ッ…

2 …まだまだ言いたいことはたくさんあるぞ！

3 お仕置きだか何だか知らぬが、

4 好意を寄せてもいないおなごを性処理の道具にするなぞ、

5 日本男児としてあるまじき…

6

7 …つぐ…？

8 …な、なんじゃ…？

9 …身体が、あ、熱く…

10 つぐ…う…!?

11

12 SE…ドクン、と心臓が高鳴る

13

14 がっ、あ…ッ…

15 あ、頭の中が、二重に、

16 重なるような、感覚…ッ

17

18 SE…主人公も心臓が高鳴る

1 SE：頭に流れ込んでくる

2
3 (右：近)※ここからしばらく心の声みたいなエフェクト

4 ……なんじゃ？

5 それは…何の真似じゃと、聞いておる

6 ……ッ…！

7

8 (左：近)

9 (人との和解を諦める、悲しみと憎しみの狭間)

10 ……そんなくだらない理由で…？

11 ……ッ

12

13 ……クカカツ…カカカツ…

14 ……そうか…そうか…

15 ……言葉が話せる、だけで…

16 言葉が通じるわけではないか…

17 ならば…

18

1 (正面…密着)

2 (心からの憎悪に満ちた声で。でもまだ、どこか悲しそう)

3 …死ね

4 …外道が…!!

5 う、う…ああ、ああ、あ!!

6

7 S E…脳内映像、途切れる

8

9 (正面…密着)

10 はー、はー…

11 …なんじゃ…今は…

12 ふー、ふー…ツ…

13

14 …?.

15 …どうした…?

16 …拳を握り、震えて…

17

18 …ハッ…!?

1 そうか、そういうことか…？
2 才に恵まれし陰陽師と、大妖怪…
3 共に卓越した霊的能力の持ち主同士…
4 精液…陽の気の塊を介して…
5 一時的に、同調した…？
6
7 妾には今しがた、お主が体験したであろう、
8 過去の記憶が流れ込んできた…
9 ならば反対に、お主には…妾の記憶が流れてきた、
10 というのか…？
11
12 （悩む素振りを見せるも、罪を認める）
13 ……っ…
14 ……そうか、よりもよって…
15 ……
16 …見られたからには…
17 ……特段、隠しておく意味もあるまい
18 …ああ、そうじゃ

1 妾は…

2

3 (正面…密着 有声囁き)

4 …妾はかつて…人を殺めた

5 事故などではない

6 己の意思に従い…この手で…殺した

7

……

8

9 トラック4…九天葛の罪

10

11 SE…数歩下がり、九天葛に刃を向ける

12

13 (正面…近)

14 …クカカッ…

15 やはり持っていたか、結界無効の呪具を

16 …で？ 向けるだけでは妾を殺せんぞ？

17 ほれ、刺せ…心臓を呪具でつけば、妾と言えど死ぬ

18

1 …何か理由があるのか…？
2 はあ…お主はつくづく愚かよのう
3
4 気づいてないようじゃから、教えてやる
5 お主が妾に一度も勝てんのは…実力差のせい、
6 だけではない
7 お主に…殺意が、妾への憎悪が足りぬからじゃ
8 無意識じゃろうが、お主は肝心のところで、
9 霊力を制御してしまっておる
10
11 妾の事を、どこか憎めない、分かり合える存在…そう思っておる
12 だから出来ることならば、
13 祓わず…共存する道を模索したい…違うか？
14
15 …いいか、小僧
16 お主のその震え…迷いを振り払う手立てとなるよう、
17 念押ししてやる
18

1 …妾は間違いなく、過去…
2 自分自身の意思で、殺しを行った
3 生涯で殺めた人数こそ…一人…いや、
4 あやつも含めれば…
5 二人じゃ
6 少ない、と思ったか？
7 じゃが、殺しは殺し
8 妾は過去間違いなく、二人の人間を死に追いやっておる
9 この世に許されざる罪の烙印というものが存在するのならば…
10 それは妾にこそ刻まれているのであろうな
11 クカカカ…
12
13 …なぜ殺した…？
14 お主今、何故と申したのか？
15 …それはあれか？
16 何か理由があれば、妾の殺しを許容する…そういう意思表示か？
17 涙を誘う物語が存在すれば、
18 許してやる、見逃してやる…と？

1 クカカカツ…カカカカツ…！

2
3 （愉快そうな声から一転、絶対零度の声色で）

4 …あまりこの九天葛を見くびるなよ、小僧

5
6 …いいか？

7 妾は媚びぬ、へつらわぬ！

8 お主がどんな拷問を用意しようと、

9 頭を下げ、許しを請うことなどありはしない！

10 生半なまなかな決意で血に塗れたと思うたか！？

11 死や報いなど怖くはない！

12
13 分かったか？

14 分かったなら殺せ！

15 今すぐに！

16 都合のいい妄想などに執着するな！

17 お主が、陰陽師でありたいのなら！

18 己の正しさを買きたいのなら、ためらうな！

1 殺せ…さあ、早く！

2 聞こえておらぬのか、小僧！

3 はやくし…

4

5 SE…呪具を床に放る音

6

7 ……どうして武器を捨てた？

8 …妾の話を聞いていなかったのか？

9 それともあれか？

10 口とはいえど、己が種を注ぎ込んだおなごに情が湧いたか？

11 ああ、お主は性行為とは無縁、

12 陰陽師としての腕こそあれど、夜伽の腕前は猿未満

13 色仕掛けなどされれば、たちまち命を落とす…

14 そんな童貞小僧じゃものなあ？

15

16 …いいんじゃない？

17 お主が意味の分からぬ理屈で見逃すのならば…

18 …次^ま見えた時は、殺すぞ？

1 お主だけではない

2 お主の親しい友人も、家族も

3 知り合いもこれから縁を結ぶであろう人間も、

4 悉く！

5 妾が殺し尽くしてくれるわ…！

6 後悔しても、謝っても！

7 失われた命は返ってこないぞ？

8 さあ、分かったなら刃を取れ！

9 妾を殺す好機など、金輪際訪れぬぞ！

10 さあ、さあ！

11

12 SE..首を横に振る

13

14 …ッ…どうして、それも頑なんじゃ…

15 …妾の罪を知ってなお、どうして…！

16

17 (泣いていた、というのは先ほど記憶が混線した時、人を見限る瞬

18 間の九天葛を指します)

1 …？

2 …納得できない…？

3 泣いていたから…？

4

5 …な、何を言っておる？

6 妾は、泣いてなぞ…

7 …くどい！

8 どうしてもじゃ！

9 殺しの理由なぞ、お主に話したくはな――

10

11

12 SE：ござござ

13

14 な、なに懷を探つて…

15 …こ、今度は一体、何を…

16

17 SE：自白剤を取り出す

18

1 …なんじゃ、その…
2 容器になみなみと入った、
3 液体は…!?

4
5 な…じ、自白の術を掛けた、

6 超強力な、自白剤…?

7 ぐ…どうあっても、口を割らせるつもりか…!

8 じゃが、そんな物、吐き出して…へ?

9 …それを、肛門…?

10 こ、肛門から、注ぐ…!?

11 の、のじゃああ…!?

12
13 トラック5…自白剤入り浣腸♪はじめてアナルは涙味

14
15 SE…霊符で天井につるす

16
17 (正面…密着)

18 んっぐ…ッ…霊符が、浮いて…っ

1 妾、て、てるてる坊主みたいに、吊るされて…っ
2 んっぐ…う…っあっ…擦れ…お、おいっ…！
3 感度…んうっ…感度のこと、忘れる、なっ…
4 わ、妾もッ…んっ…絶頂のし過ぎで、
5 少々快樂が飽和、しておったが…んっあっ…
6 ちよっ…あっあっ、っぐ…う…！

7

8 SE…尻に手を添える

9

10 あっ、んおっ…!?

11 こ、こらっ、尻…妾の尻穴、指で拡げる、なあっ…！
12 んぐっ、うっ…あっ、つく…

13 やめろっ、やめろっ…

14 …し、尻に、冷たいのが、んっ、当たって…ッ…

15 ふーっ、ふーっ…！

16

17 やめろ…やめるのじゃ…ッ

18 …何をされようと、妾はっ、

1 絶対、敵なんぞに情報を吐く真似…あつ、んぐつ、うつ、
2 アツ――

3

4 SE:とぶとぶと肛門に自白剤注入

5

6 (肛門に液体を流し込まれ、無様な声が漏れる)

7 んつぐ…ほおおおお…ツ…くくく…

8 おぐつ、オツ…んぐつ、ウツ…がつ、アツ、ああ…ツ…?

9 おつ、おつ…つほおおおお…ツ…

10

11 …がつ、つはつ…ぬるぬる、ぬるぬるした液体が、

12 おつ、つご…妾の、尻穴に…おつおお…

13 腸内、にい…おつおつ…んぐつ、つほおおおお…ツ

14 がつ、あつ…あつ、あつ…?

15

16 頭、芯、びりびり、うあ、あ…?

17 これ…おつほ…思考能力、奪われ…あつあ…

18 つぐ、つふう…フー…ツ…やばい、やばい…ツ…

1 フーッ、フーッ…
2 ふっぐ…うっ…
3 んっ…んうっぐ!?
4
5 SE…尻尾をしごく
6
7 (尻尾で感じてしまう)
8 …がっ、おっ、んっ、オおああアッ…!
9 つぐっ、うっ、んっ、あっ…!
10 おぐっ、フーッ、フーッ、
11 んうっ、つくっ、あっあっ、うあっ、ああああッ…!
12
13 …尻尾…ふさふさの尻尾、しご、しごって、
14 おっおおお…ッ…
15 それ、ちがう、お主の陰茎じゃ、ないから、
16 おっおっ、勝手にしごしご、だめっ…おっおっ、
17 んぐっ、オッ、オッ、んっおおおお…ッ…ぐ…
18 フーッ、フーッ…

1
2 …つぐつ、う…
3 …な、に…？
4 はー、はー…
5 …殺しの理由…？
6 ふぐつ、うつ、つぐつ、う…！
7
8 そ、それは、ふくしゅ…つぐつ…！
9 はー、はー…ッ…！
10 …つく…あつ…く、口が、勝手に…
11 フーッ、フーッ…
12 …い、言わない…言って、なるもの、かッ…！
13 フーッ、つぐ…う…ンウうつ…！
14 妾は…これしきでは、絶対、んおつ…屈し、
15 屈しないのじゃあつ…！
16 おつぐつ、んつ…つぐつ…うつ…つぐ…う…!?
17
18 SE…自白剤入りの液体に、更に靈力を込める

1
2 おつづ…!?
3 んっ…つぐ…う…ッ
4 れ、靈力、オオオオッ…尻穴で、オオオオ…ッ…
5 靈力、跳ねてッ…おつづつ、オッ…!
6 …ふぐつ、フーッ、フーッ…!
7
8 お主、何か…あつ…まじないを、掛けおったな…!?
9 ふぐつ、フーッ、フーッ…つぐうつ、んっ、んっ…
10 おごつ、あつ、オッオッ、んっお…ッ…
11 …がつ、あつ…、あッ?
12 な、なんじゃ、これっ…
13 尻穴、ぬるぬるが、あつあつ、意思を、持ったみたいに…
14 ふーっ、ふーっ…あつ、あつ…?
15 …ふぐつ、うっ…
16
17 な、中身が、んおっお…根こそぎ、持ってかれ…
18 あっあつ…出る、なんか、お尻から、出っ…

1 あっ…んっ、うゝうゝうゝ…うゝ…うゝ…うゝ…!!

2

3 SE: 自白剤&呪いによる、ぬるぬるゼリー排泄(にゅぢぢ?)

4

5 (疑似排泄アクメ)

6 んおっ、おーっ、おおーっ…!!

7 おぐっ、おおーっ、オグーっ…!!

8 はあっ、はっ、はーっ、はあっ…!

9 ふぐっ、フーッ、んおっ、オッ、おぐおっ、オッ…

10 おぐ…ん、おおおおお…くく…ッ…!

11 がっ、あっ、うあっ、あっ、んっ、つぐ…う…

12 うー…ッ…

13 ぜー、ぜー…ぜー、ぜー…

14 フーッ、フーッ、ふしゅーっ、フーッ…

15 あ、あ…?

16

17 …な、んじゃ…ッ…これ…へ、蛇のような、

18 寒天のような、代物が…尻穴から、ひりだされて…っ

1 はあ、はあ、はあ…

2

3 SE…排泄したものが溶けて消える

4

5 …っ…き、消えた…？

6 …お、お主の術か、これは…？

7

8 フーッ、フーッ…フーッ…

9 …こちら、説明せい…っ

10 はー、はー…ッ…

11 今度は、妾の身体に…お狐肛門に、何をしおった…っ

12 はー、はー…

13 …？

14

15 …身体に直接聞くための、準備…？

16 し、支離滅裂じゃっ！

17

18 今の自白剤が、お主の奥の手だったのじゃろ？

1 ならばこれ以上、お主に取れる手段なぞ…

2

3 …へ…啞えさせるだけでは不十分なら…

4 もつと過激な拷問で、口を割らせる…!?

5 …なつ…ま、まさか…今しがた、

6 尻穴に自白剤浣腸を施したのは…っ

7 ま、待てっ、ダメじゃ！

8 それは流石に禁忌に触れるはずじゃ！

9 陰陽師は妖怪と性交渉してはならな――

10 あっ、がっ…！

11

12 SE…尻穴にちんちんあてがう

13

14 あぐっ、うっ…は、話を、聞け小僧っ！

15

…んうっ、っぐっ…！

16

…先端、剣先、押し当てる、なっ…

17

がっ、っうっ、っぐっ、う…

18

…肛門なら大丈夫、とか…そんなはず、あるかっ…！

1 …よせっ、それ以上ねじこんでみる…！

2 …絶対、陰陽師全員に、お主の不貞を告げ口、してや…

3 がっ…あっ…

4 待て、裂ける、うあっ、お尻、敏感お尻、

5 あっあっ、つつっ、つぐ…う…

6 やめ…妾に、入って、くる、なっ…あっ、つがっ…お…

7

8 SE…ゆつくりと、奥まで挿入していく

9

10 (野生返しそうなケダモノオホ声。音割れにご注意ください)

11 んおっ…オオオ、オオ、オオツ…！

12 んぐおっ、おオオオツ…がっ…あっ…んっ、

13 おぐおおオオオオツ…！

14 つぐあっ、おっ、んっ、オツ…おおっ、つぐっ…

15 がっ…あっ…あ、ああ、あ…ツ…？

16

17 ふぐーっ、フーッ、ふしゅーっ、ふー…ッ…

18 う、う…っ

1 …ひ、酷い異物感が、肛門、に…
2 はあ、はあ…はあ…
3 …この…っ
4
5 し、尻の穴なぞ…はあ、はあ…っ
6 誰にも、触れられたことも、見せたこともない、
7 のに…っ
8 …か、勝手に傷物に、しおって…っ
9 はー、はー…ッ…
10 どう、落とし前、付けるつもりじゃ、小僧めが…！
11
12 はー、はー…ッ…
13 …ふっぐ…う…！
14 っら、陰茎、びくつかせてないで…
15 何とか、言ったら、どうなんじゃ…っ
16 はー、はー…ッ…
17 というか、これ…抜け…っ！
18 …は、はいっとするだけで、ふーっ、ふーっ…

1 …お、おかしく、なりそう、じゃ…っ
2 はー、はー…ッ…っぐ…

3
4 …じ、ごめん…？

5 あ、謝るのは殊勝な心掛けじゃが、
6 何故に妾の腰を手で抑えつけた!?
7 言葉と行動が、噛みあつてな…

8 …おい、小僧…？

9 …い、息が、寧猛な獣のようじゃぞ…!?

10 …ま、まさか…やめっ…

11

12 SE…アナルピストン中速

13

14 (動かれたことで、より本能むき出しオホ声に遷移)

15 んおっ、っごっ、オオオ、オオオ、グオオ、オオッ…!!

16 あぐおっ、んおっ、オッオッ、んぐおっ、っごっ、オッ、

17 んうっ、オッオッ、んおオオオッ…!

18 …がつ、あっ、んぐっ、あっ、オッ、オッ、おオオオオッ…!

1 …おっおっ、んおっ、オオオオオツ…!!
2
3 この、い、色狂い…すけべ人間…っ
4 おっおっ、んおっ、おっ…!
5 …あっおっ、んっおツ…尻穴気持ちいい、
6 せま穴気持ちいい、言いながら…ぱんぱんっ…おっっっ…
7 どぢゅどぢゅ、やめるのじゃっ…
8 おっづっ、んおっ、オオオオオツ…!!
9 つぐおっ、あっ、おっおっ、んっおっ、
10 あっ、おっ、んおっ、オツ、ンオツ、オオオオオツ…!!
11
12 ふーっ、ふーっ…これ、本来の目的…
13 関係ない…おっおっ、んっ、オオオオオツ…!
14 妾を使っつて、自慰してる、だけっ…!
15 おっおっ、んおっ、あっおおお…奥見つかつた、
16 ぐぢゅって、おっっづっ、んおっ、おおオオオオツ…!
17 …そっ、あっ、おっ…快樂の、泡、はじけ…っおっ、
18 んおっ、つぐおっ、あおおおおお…!!

1

2 …うあ、あ…？

3 つぐ、おつ、っほおお…！

4 …ふぐあつ…あつ…！

5 …抜くとき…返しの部分が、腸壁を、削って…っ

6 おつづつ、んっお…オオオオおお…ッ…

7 …嫌、じゃっ…こんなの…っ

8 こんなもので…ふーっ、フーッ…

9 達したく、ない…！

10 はー、はー…ッ…ぐらえろ…ぐらえるのじゃ、わら…わっ!?

11

12 SE:ピストン速め

13

14 んおつ、オウツ、おぐっほ、オオオオオお…ッ…！

15 んぐおつ、つづつ、オツオツ、がつ、オツ、あおつ、

16 ンツオオオオオツ…！

17 はぐおつ、オツ、んおつ、オツ、オオオオオツ…！

18

1 …み、身勝手に、腰振り、オッオオオオ…！
2 クズめ…っ…おっおっ、んおっ、オオオオオオ…！
3 がっ、おっ、んっおおお…！

4

5 子をなす穴でもないのに、必死に、種を撃ちこもうと、
6 おっおっ、ンッ、オオオおお…ッ…

7 …がっ、あっ…こんな、もので…

8 こんな、生命への冒涇のような、おっおっ…

9 …変態行為なんぞで…ふぐっ、ウツ、妾は、絶対…

10 オッ、オッ…あっ、オッ…つぐ、っ…う…

11 ふ…む、無理、無理じゃ、あっ、あっ、出る、

12 …あっ、っおっ、んっ、オッ…

13 オッ…んぎゅ……ッ……♡

14

15 SE…無様な放尿音

16

17 …んじ、っほおお……ッ…♡

18 あお……お、んぐっ、ふー、ふー、

1 うっ、うっう…っ…♡
2 ぜー、ぜー…ぜー、ぜー…
3 …あ…あ…?
4 …ああ…あ、あ…?
5 …っお、っご…白い、世界が、白く…あっあっ、
6 何も、見えな…お、お…?
7 ふ？ ふ…?
8 ん…
9
10 SE…スパニング
11
12 ツオオッ、っごおおお…!?
13 がっ、あっ…!?
14 な、なんじゃ…妾、どうなって…
15
16 SE…スパニング二連
17
18 オオオッ!?

1 んお、っぐおおお…!!

2 …あつ、っおつ、んっ、お…ッ

3 …し、尻、ぶったかれて…おつ、んお…お…

4 …がつ、あつ…っぐ…う…

5

6 SE…ちよろちよろ放尿

7

8 ふぐーっつ、ふしゅーっ、ふーっつ、

9 うーっつ…ぜー、ぜー…ぜ…

10 っがつ…あつ…!?

11

12 SE…ピストン速め再開

13

14 (イキまくっているのに、なおもやまない追撃ピストンを前に、も
15 うわけが分からなくなっている)

16 …オッ、ンオッ、がおつ、んぐおつ…!

17 おぐっ、おおほっ、んほおっ、オッ、あおっ、おっ、

18 んおっ、おおおオオオ…ッ…!

1 …つぐつ、オツ、んおつ、おおおおお…くく…!!

2

3 …がつ、あつ…嫌、なのに…がつ、オオオオオ…ツ…

4 んぐつ、オオオオ…!

5 …十五世代以上、年下の、未熟な小僧の、

6 性処理道具、にされてつ、おつおつ、んおつおお…!

7 淫乱のように、達しまくるなぞ…おつつおつ、

8 んつ、オオオオオツ…

9 心外、なのに…ツ…!

10 屈辱で、業腹なのにつ…!

11 おつおつ…ンオツ、あつ、オツ…んぐつ、オオオお…!

12

13 …ぎ、もぢ…オツ、んつ…

14 どうして、こんなに気持ちいいんじゃあ…ツ…!

15 はぐつ、あツ、ンオツ、ぐおつ…つおつ、んおつ、

16 がうおつ、あつあつ、ンオツ、オオオオお…ツ…!

17

18 温もりが…オツ、ンオツ…情熱が、オツ、ンオツ…

1 …お主の、変態で、善人な、矛盾を孕ん、だっ…
2 真つすぐな心根が…んぐおつ、オツ、あ、オツ…！
3 …オツ、オツ、んっおつ…
4 妾の心身を、駆け巡つて、オツ、ンオツ…オツオツ、
5 んっ、オツ、んぐおつ、あおつ、オオオツ、
6 おっごおおおお…!!
7 がっ、あっ…！
8 また、陰茎、太く、硬く…!?
9 …ま、まさか…まだ、上があるのか…!?
10 …や、やめ…妾、壊れる、
11 壊れてしまふのじゃっ…！
12
13 SE…ピストン最速
14
15 (絶頂寸前限界オホ声)
16 うっおっ、がっ、オオ、オオ、オオオ、オツ!!
17 ングオツ、がおっ、おっおっ、んうおっ、おほっ、
18 オツオツ、んあうおっ、オツオオオオオツ、

1 んうおっ、オオオオツ、つぐつ、オオオオオオ♡
2 おおぐっ、んおっ、あおっ、オツ、んぐおっ、オツ、
3 んあっ、ゝああゝあっ、オツ、んおっ、
4 おっおっ、んぐっ、オツ、オオオゝオオゝオオツ♡
5 ぐあっ、っおっ、んっ、オオオオオオツ…♡
6
7 …あっ、オツ、んっおっ…！
8 …陰茎が、おっ…おっ…たくましくも、
9 か弱く…震えて…っ
10 オツ、っぐっ、んっ、オツ…出す、のか？
11 出すんじやな？
12 オツ、んおっ、っぐっ、オツ、あっ、っぐっ、オツ、
13 オツ…！
14
15 …も、もう、よい…
16 終わるなら、なんでも、いい、から…
17 …フーッ、フーッ、っぐっ、う…
18 出せ…尻の内で、子種を、吐き出せッ…！

1
2 SE..陰茎を引き抜く音
3 SE..精液が飛び散る音
4
5 …がつ…あつ…う、ううう…！
6 …ふー、ふー…ツ…ふー…ツ…
7 白い水溜りが、広がって…
8 はー、はー…遠慮なしに出し過ぎじゃ、小僧…っ
9 ふー、ふー…ツ…つぐ…う…ふー…ツ…
10
11 …はあ、はあ…肛門が、ジンジンするのじゃ…っ
12 ふー、ふー…ツ…
13 お主が、隆起した陰茎で、掘削しおるから…ッ
14 …はー、はー…妾の尻穴、
15 広がってしまったやもしれぬ…っ
16 ふー、ふー…ツ…
17 どうしてくれるんじゃ、この…っ
18

1 …へ？

2 …気持ちよかったか、じゃと…？

3 そんなの、言うまでもなく超気持ちいいに決まって…

4 …のじゃあっ!?

5 な、何を言わすか、このちゃっかり小僧め！

6

7 ふー、ふーっ…

8 …うつ…絶頂で気が緩んだか…！

9 自白剤の効果に、抗えなく…っ

10 はー、はー…ッ…

11 …肛門性交め…っ

12 悔りがたし、なのじゃ…っ

13 ふー、ふー…ッ…ふー…ッ…！

14

15 トラック6…心情解明

16

17 (正面…近)

18 はー、はー…

1 う…何故こんな拷問をされてまで、話さないのか…じゃと？
2 そ、それは…

3

4 …ダメじゃ、お主には…お主だけには、言いたくない

5 お主はやはり、根っこの部分で甘い…甘すぎる、から…

6 …同情して…許してしまう、じゃろう

7 敵同士とはいえ、これだけ長い付き合いじゃ

8 それくらい…手に取るように分かる

9

10 じゃが…

11 許し、なぞ…まっぴらごめんじゃ

12 これは妾の罪

13 許してほしいなどと、思いはしない…！

14

15 …おい、小僧…っ

16 変態行為如きで、拷問じゃと？

17 ちゃんちゃらおかしい

18 …呪具で片目を潰すなり、指を順にそぎ落とすなり、

1 尻尾を千切りにするなり…幾らでもあったじやろう
2 じゃのに…後遺症も残さず、
3 辱めるだけとは…吐き気がするほどに甘いわ
4
5 …もうこれ以上…付き合うのも時間の無駄じゃ
6 よく聞け、小僧…！
7 妾は、何をされても話さぬ！
8 話すくらいならば…
9
10 …し、舌を噛み切って死ぬ…！
11 そうじゃ、初めからこうしておればよかったのじゃ…！
12 …死に際に生き恥を晒すくらいならば、
13 潔く自決してやるわ…！
14 どうせ、妾を殺せ…と言っても、
15 あれこれ理由を付けてお主は実行せぬじやろうしな
16
17 …小僧
18 …最期だから言うが…

1 妾はお主の事…嫌いではなかったぞ
2 才能にあぐらをかかず、高い目標意識と弛まぬ努力を続ける…
3 そんなお主の成長を見るのが、好きじゃった

4
5 あどけない子供だったのに…

6 いつしか一端の男らしい顔をするようになって…

7 …もしかすると、本当に妾を超えて…

8 長く退屈な生を終わらせてくれるやも、などと…期待もした

9
10 …クカカツ…

11 などと褒めちぎってみても…

12 先ほどお主がしでかした狼藉…

13 あれで全て台無しじゃがな

14 好感度はとつくに、半分よりも下のところ、

15 最底辺まで振り切れて…

16 …ぷっ…ぷくくっ…

17
18 クカカツ…なんて、冗談じゃ

1 そつ肩を落とすでない
2 普段からお主は、阿呆で、突飛な発想ばかりしておつた
3 …じゃから…今回の馬鹿らしい、
4 支離滅裂な攻防なんで…お主への評価は、変わらぬ
5 嫌いになど…なつておらぬよ
6
7 ……
8 それにしても…
9 …本当にお主は…ただひたすら、
10 愚直に…妾の事ばかり追いかけておつたな
11 他の妖怪に見向きもせず、ただひたすら…妾だけを
12 …恋にも似た妄念で…ずっと
13 …なんだか、嬉しいのう…
14
15 ……おい小僧、忘れるなよ？
16 …お主がこれから先、どれだけ可憐で美しいおなごを抱こつと…
17 誰と子を成そつと…初めての性交渉は、
18 妾の尻穴相手だったということを

1
2 歴史に名を残す陰陽師の、筆おろし…とはちと違うかもしれぬが、
3 最初の相手が妾だと思えば…少しは死出しでの餞はなむけになる

4
5 …では…そろそろ逝くか

6 達者でな、小僧

7 つて…ん…？

8
9 S E…印を結び出す

10
11 (正面…近)

12 …!?

13 その印は…！

14 なにをしておる、やめろっ、やめるのじゃっ！

15 その術だけは、その術だけは使うな！

16 やめろおお！！

17
18 S E…術が発動する

1
2 つぐ…う…ッ
3 …この、深くでつながる、感覚は…ッ
4 …つぐつ、う…！
5 …発動、してしまったのか…ッ…
6 …これは…この術は、やはり…ッ…
7
8 …お主、どういつつもりじゃ!?
9 自分がどれだけ阿呆なことをしたか、分かっておるのか!?
10 …この術は…『魂命結合こんめいけつごうの儀』…!
11 格上相手だろうと問答無用で契約を結び…
12 己の式神とできる代わりに…
13 …甚大な危険を背負う術ではないか…!
14
15 …分かっておるのか?
16 この術は…命を、魂を共有するもの
17 つまり…
18 …妾が死ねば、お主は…死ぬのじゃぞ!?

1 今までも馬鹿じゃ馬鹿じゃとは思っておったが…
2 これは笑えん大馬鹿じゃ！
3 …なぜ、なぜこんなことを…ッ
4
5 ……死ぬつもりなら、
6 …自分も殺していけ…!?
7 …な、何を言っておる…！
8 何を血迷っておる！
9 バカな真似はやめ…
10
11 …勝ってない…まだ、負けたままだから…？
12 見逃され続けた命で、
13 繋ぎとめられるなら…安い…？
14
15 …ッ…つくづく分からん男じゃな！
16 別に見逃してやったわけではない！
17 妾は…殺す事にすら飽いているだけじゃ！
18 お主を殺すことだって…しようと思えば容易にできる

1 い、いいのか？
2 ほ、本当に死ぬぞお主…っ
3 今からでも遅くない！
4 この術を解け、契約を破棄しろ！
5 さもなくば、こ…殺すぞ!!
6
7 ……妾にはできない、じゃと？
8 な、何を根拠にそんな戯言を申す！
9 妾は事実、過去に人を殺した！
10 理由があろうとなかろうと、
11 人を手に掛けたんじゃぞ!?
12 そんな悪しき妖怪を前にして、
13 なぜそうも楽天的な言葉が吐ける!?
14 妾は…妾は人殺しじゃ！
15 情けを掛ける理由なぞ……
16
17 ……泣いていた、から？
18 本当は殺したくない…そう思っていたのを、

1 知ってしまったから…？
2
3 ツ…ちが…妾は、泣いてなぞ…っ
4 …殺す事に、躊躇なぞしておらぬ…ッ！
5 お主の事だつて、簡単に、妾は殺せる…ッ
6 ほ、本当じゃぞっ！
7 …本当に、妾は、妾、は…
8 …つぐ…う…ッ…う…
9 うっうっう…ッ…！
10
11 ……ッ…はあ
12 …お主は、こうと決めたら…意思でも聞かない、
13 頑固者じゃからな
14 …このままでは、押し問答
15 じきに横やりが入り、
16 諸共始末される…か
17 …くっ…クカカツ…
18

1 …本当に…仕方のない奴じゃ

2 分かった

3 妾の負けじゃ

4

5 ……少し長くなるが、

6 昔語りに付きあえ

7 ……

8 その前に…拘束を解け

9 こんな格好でする話ではなからう？

10 クカカツ…

11

12 トラックフ…かつて見た夢、鎖された絆

13

14 S E…破けている服を着る

15

16 (正面…近)

17 …んつつぐ…んつ…

18 ……敏感過ぎて、服を着るのも…んつく…

1 一苦勞じゃ…んうつ…んうつ、オツ…
2 はー、はー…ッ…
3 それに…後先考えず、お主が服を破くから…ッ
4 丸見えではないか、バカ者…！
5 …つぐ…ふ…
6
7 …まあよい
8 …さて…どこから話そうか
9
10 …お主は…妾の罪、その理由を知りたい
11 知って…処遇を決めたい
12 そうじゃな？
13
14 …ならば、避けては話せぬな
15 奴の事を
16
17 (…ここから過去を話す。と…辛さや後悔が滲む感じで)
18 …小僧

1 妾にはかつて…人間と親しくしておる時期があつた
2 …そしてそやつは…
3 お主と同じく、陰陽師
4 …妖怪と敵対する存在でありながら、
5 あやつは…妾を友と呼んだ
6 …お主に負けず劣らずの、大馬鹿者じゃったよ
7 ……
8
9 …かつての陰陽師は、
10 そりゃあもう…妖怪を嫌悪し、
11 見つければ即座に滅する…そういうものじゃった
12 …まあ、仕方あるまい
13 あの頃は、陰陽師という存在ができたばかり…
14 それまで一方的に奪われ、殺され…辱められてきた人間たちが、
15 反撃の手段を手にしたならば…
16 それまでの憎しみを糧にするのは、至極真つ当じゃろ
17
18 …そんな、妖怪は必ず滅するという考えが主流な世で…

1 奴は、妖怪にも意思がある…
2 …まずは対話を試みて、可能ならば手を取り合う
3 そんな馬鹿げた理想論を唱えておった
4
5 …そして…
6 ひょんなことから、妾と出会い…
7 開口一番、友になりたい…そう言ったのじゃ
8
9 クカカツ…おかしい奴であろう？
10 妖と人の共存を、本気で夢見ておったのじゃ…
11 …妾にも同じ夢を見てほしい、などと…本気で
12
13 …妾は最初、避けて、隠れて…
14 …煙に巻いておったのじゃが、
15 奴のしつこさに根負けしてのう
16 …時折顔を突き合わせ、話す仲になったのじゃ
17
18 ちなみに余談じゃが…妾は…その時すでに、

1 今のお主を五秒で屠れる程度には強かった
2 強く…聴かった
3 じゃから…人間を襲ったりは、しなかった
4 人を喰いたいなどとも思わんしのう
5 …そういう点では、妾も…
6 妖怪の中では異端、だったんじやろう
7 じゃから…奴とは異端同士、
8 波長が合ったのかもしれんな
9
10 (じじからは辛いので、言っのを躊躇う)
11 ……それからしばらく、
12 平穏な時を共有しておったのじゃが…
13 ……
14 ……ああ、すまぬ
15 話す、ちゃんと話す
16 ……だから…最後まで、聞いてくれ
17
18 妾たちが交流を深める間も…

1 妖怪と陰陽師の争いは激化の一途を辿っておった
2 そんなある時…力だけは一人前じゃった奴も、
3 とある妖怪の殲滅作戦に参加しろ…
4 そんな命令が下った
5
6 そして…とある妖怪、というのが…
7 …妾じゃ
8
9 ……奴は…実直すぎる性格でな
10 その場だけでも話を合わせればよかったのに…
11 …上に歯向かったらしい
12 存在するだけで悪だなんて、おかしい
13 こちらから歩み寄る意思を見せるべき…と
14
15 妖怪との共存を、本気で目指しておったのじゃ
16 …っ…最期、まで…
17
18 …それから奴は、妖怪側に寝返った、

1 洗脳された裏切り者と見なされ…
2 惨たらしく、処刑された
3 …ただ命を奪われただけではない
4 …あやつの死骸には…
5 …っ…いくつもの、拷問の痕が…っ…
6 …指も、妾の髪を梳かしてくれた優しい指も、
7 全て、削ぎ落されて…っ…
8 人間の尊厳を貶めるかのような、暴力の限りを…
9 …う…う…ッ…
10
11 ……そこまで痛めつけられたのも、
12 ひとえに…妾の情報を、吐かなかったせいじゃ…！
13 妖力の残滓からであろっ、
14 妾との関係が露見して…
15 …妾を退治するための弱点、住処などを吐くように迫られ…
16 それでも、なお…
17 …奴は、最期まで…何一つ吐かなかった
18

1 …愚か者じゃ…本当に…
2 自らの命より、妾との友情を取るなぞ…っ…
3
4 …じゃが…結局…
5 …お主も陰陽師ならば、聞いたことくらいはあるじやろ？
6 屍を、式神として使役する禁術を
7 …奴は、死後も弄ばれ…
8 …妾の前に、変わり果てた姿で現れた
9 陰陽師共の言いなり…
10 絶対服従の、傀儡として
11
12 ……妾は…自分で驚くほどに、
13 怒り狂った
14 ……友を奪われ、更に死後も辱められ…
15 そんな悪行を働いておきながら、
16 自らを正義と疑わない厚顔無恥の輩を…
17 殺してやりたいと、強く思った
18

1 …そして…そこからは、酷いものじゃ
2 …襲い掛かる陰陽師を返り討ちにして…
3 …そして、友の亡骸を傀儡にしていた術者を…
4 ……この手で心臓を突き破り、殺した
5
6 ……そのまま、その場にいる人間全員を皆殺しに…
7 …なんて、考えていたんじゃないかな
8
9 …奴は…変わり果てた姿になりながらも、
10 …生前の強い念でじやろうか
11 …繰り返すように呟いておったんじゃない
12 …人と妖怪は、仲良くできる
13 …友達になれる…
14 …と
15
16 …その瞬間、妾の憎悪の矛先は己に向かった
17 …妾は感情のままに暴れ、
18 …親友の…夢を踏みにじった

1 …友が最も忌み嫌っていた、
2 人と妖怪が憎み合う憎悪の輪廻…
3 それに加担してしまったことに気づいたからじゃ
4 …一緒に夢を見ようと、再三言われておったのに…
5 妾は、妾は……っ
6
7 ……そこからは、特に語ることもない
8 ただだらだらと、生きておっただけじゃ
9 死ぬこともできず、中途半端に生きて…
10
11 …友の意思も、夢も…
12 …何一つ継げず、無念を晴らすこともしてやれない
13 本当に…なぜ生きているんじゃない、妾は
14 ……
15
16 ……すまん、感傷的になって
17 これで妾の昔話は終わりじゃ
18 …つまらん話で、悪かったな

1 ……

2

3 **トラック8:君と歩むために、禁忌を破る**

4 (そんな陰陽師たちの血を引いていることが恥ずかしくなった主人

5 公は、己の顔を殴りだす。君は罪を犯したかもしれない。でも……

6 俺も罪の片棒を担いでいる。それでも足りないというなら……二人

7 で一緒に、禁忌を犯そう)

8

9 **SE:身動き**

10

11 (正面:近)

12 …これで全て、知られてしまったな

13

14 …同情する余地などなかったじゃろ？

15 妾は、亡き友の夢を踏みにじり、

16 己の浅ましい激情を優先して…人を殺めた

17 人間を…殺したのじゃ

18 そして、奴も…我が友が死んだのも、

1 元をたどれば、妾の存在あったのこと
2 …妾が…奴を殺したのじゃ
3
4 …奴が妾に託すといった、
5 人と妖怪との共存…そこから逃げ続け、
6 かといって人との関りを完全に断つこともできず…
7 …お主と戯れたり、街の人々に悪戯をしかけ…
8 半端者じゃ、妾は
9 自分で自分に反吐が出る…ッ
10
11 …小僧、頼む
12 こんな妾を、決して許してくれるな
13 妾は…報いを受けるべきなのじゃ
14 この穢れた身に、優しい言葉など掛けてくれるな
15
16 ……絶対、許さない…？
17 …クカカツ…よくぞ言い切った
18 そうじゃ、正しい殺しなぞない

1 妾は結局のところ…自らの身勝手な理屈で、

2 殺戮を正当化したに過ぎぬ

3 許されざる…悪じや

4 お主もそう言ってくれて、たすか…

5

6 …？

7 …お主も、同罪…罪深い、存在…？

8 な、何を…って、えっ…!?

9

10 SE…主人公、自分で自分を殴る

11

12 …なっ…お、おいっ!?

13 やめぬか、何故に、自らの顔を、殴りつけておる！

14 は、腫れてしまっつ、血が出てしまっぞっ！

15 こら、やめ、やめんかつ！

16

17 SE…九天葛に泊められる

18

1 はあ、はあ、はあ…っ

2 …な、なんのつもりじゃいきなり…！

3

4 へ…なっ…ち、違う！

5 お主は確かに陰陽師じゃが…妾が殺した、

6 あの畜生どもの血を引いておるが…っ

7 じゃからと言って、罪などと…っ

8

9 …陰陽師側に都合よく記された歴史を疑わず…

10 これまで妖怪を祓い続けてきた…？

11 …話せば分かる相手が、いたかもしれないのに…？

12

13 ……た、確かに、そうかもしれぬが…っ

14 でもそれは、他の陰陽師にも当てはまることで…

15

16 …それだけじゃない？

17 …な、なんじゃ…？

18

1 ま、まじまじと妾を、見つめおって…っ

2 …お、おい…見るなっ

3 ほぼ素っ裸なんじゃぞ、妾は…っ

4 そ…そんな、凝視されたら…

5

6 SE…身動き

7

8 …ッ…ほら、言わんこつちやない…！

9 またお主、ぼ…勃起…しておるではないかつ…！

10 …し、しかも…二度も射精しておいて、

11 先刻以上に、怒張して…っ

12 い、一体全体、どうしたというんじゃ!?

13

14 …いつも通り？

15 ……妾の事を思い浮かべるだけで、すぐに…陰茎が、

16 こっになってしまっ…？

17 な、なな、何をこっぱずかしいことをほざいておる!?

18

1 …うつ、う…なんじゃ、その泣きそうな目は…
2 もしや、懺悔のつもりか？
3 …う…わ、分かった…聞いてやる…
4 聞いてやるから、そう瞳を潤ませるな
5
6 ……ふむ、ふむ……ふむ
7 なるほど…
8 小さい頃から、妾という超かわいい美少女ばかり見て…
9 敗北する度に、足裏でふみふみされたり、
10 耳に息をふーふーされたり、
11 陰陽師の道具に、小便を掛けられて…
12 気がついたら、性癖が歪んでいた…!?
13
14 な、なな…やめろ、聞いているこっちが恥ずかしいのじゃ！
15 …ひうう…ッ…
16 …精通も、妾を思い浮かべて…？
17 …それ以来、自慰の供は…いつも、妾…？
18 …っ…な、ななななっ、なああっ…!?

1
2 す、すると、あれか!?
3 負けると知りながら、
4 頻繁に妾に襲い掛かってきたのは、もしや…
5

6 SE：身動き

7
8 (正面：密着 有声囁き)
9 討伐するという建前で、妾に…
10 接触したかった…から?
11 ご、業が深い奴め…
12

13 (正面：密着)

14 …?
15 今は、それだけじゃない…?
16 …へ、ちょ…何じゃ、
17 ちょっと待つ…
18 うあつ…!?

1

SE..押し倒す音

2

3

(正面..密着)

4

つぐ…この、何を、押し倒してっ…

5

離せっ、んっぐ…はな、せっ…

6

んっ…お主、すっかり失念しておるようじゃが…

7

ん…っ

8

感度…妾の感度、上がりっぱなしなんじゃぞ!?

9

…分かったら、早くどけ…

10

んっ、んう…!?

11

12

SE..胸揉み

13

14

んおっ、つぐっ、うううっ、うっ…

15

もみもみ、んっ、胸、あっおっ、

16

んおっ、おおおお、そんなに、したら…おっぐ、

17

オッ、んおおおお…ッ…!

18

1

2 …あつ、あつ…じ、じらっ…

3 折角、性欲収まった、のにっ…

4 あつ、溢れ…おおおつ、

5 昂つてしまっつ、おっおつ、

6 んっ、おおお…ッ…♡

7

8 SE…胸揉み停止

9

10 はー、はー…ッ…♡

11 じ、こちらあ…お主、どういっつもりで、んな…

12 …へ…？

13 …これから、共に歩みたい…？

14 一緒に罪を背負いたい…!?

15 へ、へっ…!?

16

17 トラック9…永遠を誓う、禁忌の生ハメ交尾！

18

1 SE：身動き

2

3 (正面：密着)

4

んぐ…う…こちら…っ、い、一旦、落ち着け、

5

この…ふーっ、っぐ…う…んっ…

6

というか、んっ…

7

腹に、お主の肉棒が、っん、っんと…

8

っくうっ…忙しく、擦れて…っふーっ、

9

んっ、うう、っくっ、ううう…ッ…！

10

11 …待て、小僧ッ…

12

お主が、妾を好いているだとか、それは一旦置いて…

13

…お主、よもや…わ、妾を、抱くつもりか…!?

14

はあ、はあ…っく…それは、ダメじゃと、

15

何度言えば分かる!?

16

人間と、妖怪が…交わるのは、古来よりの禁忌…！

17

…一線を超えれば、お主も…

18

…あやつのように、消され…んっぐ…う…！

1

SE..水音

3

4 (正面..密着 有声囁き)

5 あっ、つぐ…う…んっ…！

6 んうあっ、あっ、んうっ、おっ、つぐう…ッ

7 ふーっ、ふーっ…！

8 愚か、者めがっ…！

9 はぐっ、んうっ、うっ、あっ、つぐ…う…んっ…

10 忠告を聞かず、陰茎…すこす、すりすり…あっ、がっ…

11

SE..水音停止

13

14 はあ、はあ…

15 …う……？

16 …罪ごと一緒に背負う覚悟は、できてる…？

17 だから、一緒に…禁忌を…大きな罪の、共犯者に…っ？

18 はあ、はあ…うっぐ…

1
2 バカ、バカっ…！
3 …妖怪と人間共存の、第一歩が、
4 子作り交尾なわけ、あるかつ…！
5 はー、はー…ッ…
6 ぷっ…く…くくっ…クカカツ…♪
7
8 ああもう…お主といると…あれこれ悩むのが、
9 バカらしくなる
10 …仕方あるまい
11 お主の性癖が歪んだのは…お主いわく、妾のせいらしいし？
12 妾をそこまで欲するのなら…是非もなし
13
14 (正面…密着 有声囁き)
15 …一回だけ…
16 今回だけなら…お主の陰茎、我が体内に受け入れてやろう
17 …さあ…さあ…
18 妾が欲しいのなら、腕づくで物にしてみろ…

1 はあ、はあ…つぐ…う…ッ

2

3 SE…水音

4

5 んおつ、オツ…

6 …なんて強引に、ごじあけようと…ッ

7 あつぐつ、んうつ、つお…ぐ…ッ…

8 …親友…過去の男より、気持ちよくする…じやと？

9 …んつぐつ、うつ…オツ、んぐつ…

10 …ばつ…何を、勘違いして…

11 がつ、あつ…やめ…オツ…感度、やばい、かりやつ…！

12 もうちつと、ゆつくり…あつ、つづつ、おつおつ…

13 ごじあけられ…あつ、んぐつ、ウツ、ウツ、

14 つぐ——

15

16 SE…挿入音

17

18 (右…密着 有声)

1 (処女喪失の、戸惑いと快楽入り混じるオ木声)
2 ンオツ、オオオオオオツ…~~~~~♡
3 アオツ、んっ、オオオオツ、ごっ…
4 オツオオオツ、んっ、っぐおおおお…ツ…♡
5 うあっ、オオツ、んおっ、オツ、おっおっ…
6 ほおおおお…ツ…
7 がっ、う…♡
8 ふー、ふー…ツ…ふ、フーツ…♡
9 …っ、っりゃっ…いきなり、フーツ…
10 赤子の部屋を、小突く奴が、あるかつ…♡
11 はー、はー…ツ…
12 …？
13
14 …なんじゃ…血が出るのなんで、当たり前じゃろ
15 …お主がどこを勘違いしたのかは知らぬが…
16 妾の親友…あやつは、女じゃぞ…？
17 それにそもそも、恋仲などでは断じて、ない…っ
18 はー、はー…フーツ…

1

2 …クカカツ…♡

3 というか、なんじゃお主…嫉妬、なぞして…

4 あれか？

5 …そういうオチか？

6

7

SE…身動き

8

9 (正面…密着 有声囁き)

10 …妾に、惚れたか？

11 …同情のあまり、好きになって、

12 しもつたか？

13 現金な奴め…クカカツ…んうつ…!?

14

15 (濃厚なキスで『元から好きだった』という)

16 んむっ、ぢゅうつうつ♡

17 ぢゅるるるっ、ぢゅうつうつ♡

18 ぢゅぐぢゅっ、ぢゅびびびっ…

1 んぢゅづづつ、ぢゅうううつつ♡
2 んぐぢゅつ、ぢゅるるるっ、
3 んっんっ…ぢゅうう…ん…ぷあっ…♡
4 はー、はー…ッ…
5 え、え…なんで、接吻…？
6 …へ…？
7
8 本当は、ずっと前から…好きだっ、た…？
9 …家にいても、訓練の時も…
10 妾の事が頭から、離れなくて…
11 早く会いたくて、顔が見たくて苦しかった…？
12
13 …♪
14 …なんじゃ、愛い奴め…♡
15 妾の事が、好き…か…そうか…クカカツ…♡
16 よかったなあ…♡
17 お主…
18

1 SE：身動き

2

3 (右：密着 無声囁き)

4

好きな女の…処女膜、奪えて…♡

5

この果報者め…♡

6

くかつ、かつ…んっ…!?

7

8 SE：ピストンゆくり

9

10 (正面：密着 有声囁き)

11

オッ、ンオッ、あおっ、んっぐおオオオオッ♡

12

ングオッ、おぐっ、オッ、オッ、あっ、オッ、

13

ンオッ、オオッ、オオッ♡

14

おぐっ、オッ、アオッ、ンオッ、オッ、オッ、

15

んっ、オオオオオオオッ…ほへっ、あっ、ッオオッ、

16

ンオッ…♡

17

18 く、かつ…♡

1 生娘かどうか、それほど重大、か…？
2 オツ、つぐ…う…ツ、フーツ…♡
3 陰茎の屹立を、強めて…腰を、無様に動かし、てっ…
4 独占欲の強い、小僧じゃ、なっ…
5 アツ、オツ、んっ、オオオオオツ、ごっ、オツ、
6 つぐっ、オオオオオオツ…♡
7 アツ、オツ、ンオツ、オオオオツ、つぐっ、オツ、オオツ♡
8 おんっ、つぐっ、あっ、あっ…うっ、あっ…？
9 んっ、ウツ…
10
11 (キスハメ。余裕のないオホ声)
12 んむぢゅっ、ぢゅぶるるるっ…ッオッ♡
13 んぐおっ、ぢゅっ、ぢゅんぢゅんっ、
14 ぢゅぶるるるるっ、ンンン、んぐっ、
15 ぢゅーっ、ぢゅびびっ、んうううっ…
16 んぐぶっ、ぢゅっぢゅっ、んぢゅびびびっ、
17 ん————…ふはあっ♡
18 はー、はー…ッ、はああ…ッ♡

1 何じゃ、いきなり猛りおって…ッ
2 はー、はー…ッ…つぐ…う…ッ
3 う…す、少し、止まれ…ッ…
4 …膣の奥で、熱が、膨らんで…
5 はっ、っがっ…!?

6
7 SE…ピストン中速

8
9 (右…密着 有声囁き)

10 オッ、ンオッ、ツぐおおッ♡

11 あおっ、ンオッ、オオオッ、つぐおっ、がっ、おっ、

12 あオオッオッ…♡

13 ンウオッ、つぐっ、あおっ、オッ、

14 ンオッ、オッ、オッ、オ…オオオ…オオッ♡

15 つぐ、ウッ、ウーっ、ウッー♡

16

17 子宮、潰され…オッ、オッ、ングオッ、オオオオッ♡

18 年下の、小僧如きに、おごっ、孕み袋、扱い…ッ♡

1 オツ、ンオツ、あオオオオつ♡

2 オツ、オツ、ンオツ、オオオオオオツ♡

3

4 あつ、ツオツ、んつ、オツ…アツ、アツ、アツ!?

5 あつ、なんか、まずいのじゃつ…!

6 そこ、特に、変な心地、あつ、オツ、ンオツ、オつ…!

7 おづつ、ンオツ、オツ、オツ、あつ、オツ…♡

8

9 あつ、がつ…大きいの、くる、来る、くるつ♡

10 アツオツ、ングオツ、オツ、アツ、オツ、ンウツ、

11 ツゴツ、オツ、あつ、オツ、ンオツ…

12 オツ、オ、オオ、オオオ、オ…、…、…ツ♡

13

14 SE…潮吹き音

15

16 (かなり激しく痙攣している余韻オホ&吐息の途中でピストンされ
る)

18 ングオツ、オツ…アツ、オオオオオツ…♡

1 おぐつ、オツ…オツ、オツ…

2 ふ——、フ——…♡

3 ぜー、ぜー…ん…は——…あつ？

4

5 SE…最奥ごちゅり

6

7 (左…密着 有声囁き)

8 ンウオオオオツ♡

9 お、あ…？

10 あ、ああ…あ、あ…？

11 う…

12

13 SE…ピストン中速

14

15 (イキっぱなしお狐オホ声)

16 オツ、アオツ、ンオツ、オツオツ、ングオツ、オツ、オツ、

17 あつ、おぐつ、オツ、オオオオオオツ♡

18 あぐおつ、オツオツ、ンウオツ、おぐつ、オツ、

1 ンウオツ、オツ、オツ、オオオオツ、ンブオオオオオツ♡
2 …こうっ、愛液、愛液が噴射しとる、最中、じゃったのにつ♡
3 あっおっ、んっ、オオオオオ…ツ♡
4 こんな、暴力的な快感、叩き込まれたら…ツ♡
5 アツ、オツ、オツ♡ オツ♡
6
7 妾の、身体…ツ♡
8 ちっこいメス穴、壊れっ…オツオオオオツオツ♡
9 んぐおっ、オツ、オオオオオツ…♡
10 …突かれる、たびに…オオオオオツ…♡
11 …妾の中、お主の陰茎を、喜ばす形に、変えられ…ツ♡
12 あっ、オツ、ンオっ、んうおオオオオツ♡
13 ぎもぢっ…あっ、オツ、んおっ、オオオオツ♡
14 こうなれば、ヤケじゃッ…！
15 もっと、もっとツ…激しく、動けッ…
16 殺すつもりで、来んかあ…っ…
17 う…
18

SE:ピストン速め

1
2
3 (正面:密着 有声囁き)
4 オツ、オツ、ンオツ、オオオオオツ♡
5 はやつ、オツ、オツ、ふかつ、深いツ♡
6 おづつ、オツ、ンオツ、アオツ、ツぐおおつ、
7 ンオツ、オツ、あーっ、オツ、おづつ、
8 オオオオオオツ♡
9
10 妾の、子供じみた肉体がツ、
11 オツ、んぐつ、オツ、オツ、あオオオツ♡
12 陰茎で、女の悦び、感じてツ:アツ、オオオオオツ♡
13 うーっ、うーっ:♡
14 :がっ、アツ、オツ、オオオオオオツ:♡
15
16 :っぐつ、うつ:もう、意識、限界、あっおツ、
17 んっ、うつ:こ、小僧?
18 オツ、っぐつ:く、唇:がっ、

1 妾のこと、口づけで、起こしてくれ…ッ♡
2 はぁっ、はぁっ、がっ、うっ…♡
3
4 (濃厚なディープキス、オホ吐息交じり)
5 んむっ、ぢゅるるるっ、チュウウウウっ…♡
6 ぢゅぐぢゅっ、ぢゅう、んおっ♡
7 ぢゅっ、んんッ…ぢゅづづづっ、
8 ぢゅるるるっ、オッ、んっ、んぢゅうううう…ッ♡
9 ぢゅっ、ぢゅむっ、ぢゅっぢゅっ、オッ、オッ…
10 んうぢゅうう…っ…オッ♡
11
12 はー、はー…う、う…口づけ、しても、
13 オオオッ♡
14 …子宮が、メス穴がっ…♡
15 …種付けを、せがんでっ、ひくひく、しておるのじゃっ…♡
16 はー、はー…ッ…♡
17 な、お主…我慢、いい、今は、好きにしていいいから…
18

- 1 (正面：密着 無声囁き)
- 2 妾の中に、お主の子種…全て、注ぎこんでくれ…ッ♡
- 3 一番激しい、交尾で…さあ、さあ…ッ♡
- 4
- 5 SE：ピストン最速
- 6
- 7 (右：密着 無声囁き)
- 8 (クライマックス絶頂前オホ声)
- 9 オオオッ、ンオッ、あオオオオッ♡
- 10 んぐおっ、オッオッ♡
- 11 んぐおっ、オッ♡
- 12 おぐおッ、あオオオッ、んぐおっ、
- 13 オッ、ッほオオオオッ♡
- 14
- 15 つぐっ、あっ、オッ、んオオオオッ♡
- 16 もう、一突きごとに、背中、のけぞってっ…♡
- 17 アオッ、ンオッ、がっ、オッ、オッ、オッ…♡
- 18 オオオオオッ♡

1 行き止まり、更にずんずんっ、あオオオオツ♡
2 ぎもぢっ、オオオツ♡
3 ンオツ、オツ、あっ、オオオツ♡
4
5 …アツ、がつ、オツ、ンオツオツ♡
6 つぐっ、うっ、こ、小僧っ♡
7 お主も、気持ちいい、か？
8 いい、じゃろ？
9 妾の事、好き、なんじゃろ？
10 オツ、んおっ、んぐっ、オツ、オツ、んうっ、ウツ♡
11 オツ、んっ、うっ、がつ、オツ、オツ、
12 んうおっ、オオオツ…♡
13
14 繋がっておる、から…手に取るように、分かるっ…
15 あっおっ、ンウオツ、オオオっ♡
16 いいぞ、我慢、するな…っ♡
17 全部、ありったけ全て、よこすのじゃ…ッ♡
18 オツ、オツ、小僧、小僧、小僧ッ…♡

1 あつ、オツ、ンオツ、オツ♡

2 出せ、出せ出せ、出せ…ツ…♡

3 オツ、オツ、ンオツ、がつ、オツ、ぐおつ、オツ、

4 んつ、あつ、オツ、オオオオツ、んうぐつ、

5 オツ、オオ、オツオ、オオオツ…~~~~~♡

6

7 SE..射精音

8

9 (余韻オホと痙攣吐息)

10 がおつ…オツ、んおつ、オツ…

11 あ、ああ…うあ、あ…？

12 ぜー…、ぜー…、ぜひゅー、ひゅー…

13 ふー、ふー、ふうう、うう…？

14

15 SE..潮吹き

16

17 おっほ…♡ おー♡ オーっ♡ お、お…♡

18 はあ、はあ、はあ、はああ…♡

1 うあ、あう、うえ、あ…

2 ふー、ふー、ふー、んう…

3 う…う…うああ…あ…♡

4 ん…ふー…ツ…♡

5

6 SE…身動き

7

8 (正面…密着)

9 どぼ、どぼと…妾の内に、熱が…流れ込んで…

10 はー、はー…ツ…はー…ツ…

11 これが、交尾…人と妖怪との、禁断子作り、か…

12 はー、はー…ツ…はー…ツ…

13

14 …確かに…これは…ふー…

15 禁じる必要があるのも、納得、じゃな…

16 はー、はー…はー…♡

17

18 …それに、しても…

1 お主は本当に、どうしようもない奴じゃの…
2 …妾を…好きな女を抱けるとなった途端、
3 我を忘れて腰を振り、貪るように交尾に溺れて…
4 …はあ…
5 そんなにお主にとって、妾の肉体は魅力的なのか？
6
7 …身体だけじゃなく、心も…
8 …はあ、よく言うわい
9 妾の過去を知ったくらいで、内面まで見透かしたつもりか？
10 大体、それだってさっき知ったばかりじゃろうが
11 調子のいい奴め…
12
13 こうっ、好き好き言いながら抱き着くでないわっ！
14 別に妾はお主のことなぞ…っ
15 一度抱いたくらいで、妾を墮としたとおもうなよ？
16
17 んっくっ…っ、胸を揉むなっ！
18 んう…ッ…！

1 ほ、本気で怒るぞ、やめろっ！
2 ……
3
4 …はあ…
5 お主は図に乗りやすいから…
6 傍で見ておらぬと、すぐに死んでしまいそうじゃな
7 ふむ…なら、仕方あるまい
8
9 (右…密着 有声囁き)
10 お主の望み通り…
11 お主の命が、尽きるまで…
12 妾が、傍で見ていてやるか
13 …こんな中でも、お主は…
14
15 (右…密着 無声囁き)
16 妾のお気に入り、じゃからな…♡
17 クカカッ…♪
18

1 エピソード…式神以上の関係に

2

3 SE…妖怪が去っていく

4

5 (右…中)

6 (悪さをした妖怪に、年上として窘める)

7 これに懲りたら、二度と悪さするでないぞ

8 わかったなー！

9

10 SE…こちらに向く

11

12 (正面…近)

13 さて…今日のところは、これにて一件落着じやな

14 お主にしては中々の手際だったではないか、小僧

15 この九天葛が褒めて遣わすぞ、クカカツ…♪

16

17 …それにしても…

18 お主…あの一件

1 妾を式神とし、共に歩むとのたまったあの日から…

2 妖怪を一切祓わなくなったのう

3 …お主は、巧妙に隠しとるようじゃが…

4 分かっておるぞ？

5 お主…

6

7 SE…身動き

8

9 (右…密着 有声囁き)

10 妾の友の意思…そして夢

11 人と妖怪が手を取り合う、理想の未来…

12 その実現を目指してくれているのじゃろう？

13 …妾のために…クカカツ…♪

14

15 (正面…近)

16 お主はほんつとくに、妾の事が好きじゃのう♪

17 ぞっこん、というやつか…♪

18 まあ、昨夜もあれじゃったしな？

1 妾に結婚しよう、妻になつて……と夜通し甘え倒して、
2 それはそれは無様じゃったものなあ…♪
3 クカカカツ…あぐつ!?

5 SE…感度三千倍術発動

6
7 んぐつ…う…ツ…ふー、フーツ…!
8 夜風が、んおおお…肌を撫でて、
9 んつつほおお…ちよっぴり、達して…
10 ふー、ふー…フーツ…♡
11

12 こ、こら…っ…

13 感度三千倍術…っ…う、う…ツ…

14 結界も、印もなしで、発動できるように、

15 なりおって…っ…む、無駄な才能、発揮、するなっ…っ…

16 フーツ、フーツ…♡

17 んっ、おおお…はあ、はあ、はああ…っ…♡

18 また、口で勝てないからといって、

1 夜伽で屈服…などと、色狂いのような発想、
2 してるのではあるまいな…？
3 ふー、フーツ…♡
4
5 (感度三千倍術を使ったのは、罪が軽くなっていないか確認するた
6 めだった)
7 …ん…？
8 …ああ…感度…下がってはおらぬようじゃな
9 そりゃあそうじゃろ
10 …お主と共に、いくら善行を積もうと…
11 奪った命も、犯した罪もなくならぬ
12 …罪の重さで、感度が決まる術ならば…
13
14 …妾は永久やいづえに、このまま
15 咎人のまま…
16 …業を背負って、生きていくのじゃ
17
18 ……これ、暗い顔をするでないっ♪

1 一人ならば、背負いきれぬやもしれぬ
2 深く沈み、埋もれ…折れていたやもしれぬ
3 …じゃが…今は大丈夫じゃ
4 だつて…
5
6 (正面…密着 有声囁き)
7 …お主が、共に背負ってくれるのじゃろう？
8 …頼りないが…期待はしておるぞ？
9 なあ、妾が大好きで大好きでたまらない、
10 こ・ぞ・う…♡
11 ほれ、今宵の褒美じゃ…♡
12 ん…ちゅっ…♡
13
14 (キスで感度三千倍アクメしてしまう)
15 ん…んうおっ…♡
16 つほおお…♡
17 フーッ、フーッ、んっぐ…う…フーッ♡
18

1 (正面：密着)

2 はあ、はあ…口づけ如きで、愛液が、

3 ぷしゃって…ふー、ふー…♡

4 …お主のせいで、妾の身体…

5 はー、はー…っ

6 ますます、敏感になった気がする、のう…♡

7 はー、はー…ッ…♡

8

9 …覚えておれ…♡

10 こんな術を掛けたのは、お主なんじゃから…♡

11

12 (右：密着 無声囁き)

13 責任取って、朝まで…

14 …抱いてもらっぞ…♡

15 …これから一生することなんじゃから、

16 一晩くらいで音を上げるなよ？

17 …クカカツ…カカカツ…♡

18

1
2
3
4 エピローグ：共に人間、妖怪問わず悪を成敗する日々。ずっと一緒
5 に……というか、なんで未だに感度三千倍がたまに漏れるんじゃ！
6 責任取って……お主が鎮めるんじゃぞ？ クハハッ……♡

7
8 EX1：下品な声で鳴いて、本当に淫乱だよね、と言われたのにム
9 カついて、妖術により感度三千倍を抑え込む九天葛。その結果、い
10 ちゃあまえっち『口吸いも、欲しいのじゃ……♡』など、非才ホで
11 とにかくあまあまのセックス……こんなの、可愛すぎて脳がぶっこ
12 われる〜！↓ラスト、主人公が術を強めて感度三千倍再開。ピストン
13 でEND

14
15
16 ・殺すのはダメ、式神になれと迫る主人公↑↓自分と仲良くしたこ
17 とで陰陽師を死なせた過去のある九天葛

メモ

- 2 ・主人公が知っている罪をどれだけ告白させ、お仕置きしても感度が下がらない↓人を殺めていたことが判明↓なぜ、と動揺しながら問い。裏切られたような気持ちで主人公怒りのアナルレイプ！
- 5 ・陰陽師が使役する式神の中には、退治した妖怪を洗脳したり改造して言いなりになるように仕上げたも悪質なパターンも……。九天葛も過去、陰陽寮主導で式神化計画の対象となっていたが、九天葛と交流のあった陰陽師が断固反対。訝しく思った陰陽寮は、その陰陽師が既に九天葛と契約しているという決めつけを行い、彼女の死骸を死霊術で操り、九天葛に命令を下そうとした。結果、ただの友人であった九天葛に命令などできるはずもなく、大妖怪の逆鱗に触れた陰陽寮上層部四十九名は殺されてしまう。
- 13 ・痴漢さえされなければ、感度三千倍状態でも妖力制御で普段通り振舞うことができる
- 15 ・主人公は生真面目で分からず屋な感じにする？

用語

- 18 ・陰陽寮……陰陽頭を筆頭とする幹部職、陰陽道に則った呪術を大

- 1 なう陰陽師などが置かれた中務省の部署。
- 2 ・陰陽五行思想……陰陽説と五行説が結合した思想。陰陽道におい
- 3 ては、占術などに用いられる。基本は、木(もく)・火(か)・土
- 4 (ど)・金(ごん)・水(すい)の五行に+陰&陽。
- 5 ・陰陽説……すべての事象が、相反する『陰』と『陽』として存在
- 6 するという思想(例::明↑↓暗、天↑↓地、男↑↓女、善↑↓悪)。
- 7 ・五行相生……相手の要素を補い、強めるもの。 例::どうぶ〇の
- 8 森で、木に水をあげる
- 9 ・五行相克……相手の要素を抑え、弱めるもの。 例::リザー〇ン
- 10 にハイド〇ポンプ
- 11 ・急急如律令……早々に退散せよ⇨悪鬼を祓う呪文
- 12 ・呪符、霊符……紋様や呪文を記載した護符
- 13 ・式神……陰陽師が使役する使役神。精霊だったりを使役？ 本作
- 14 では、陰の気の塊である妖怪も調伏することで式神として使役可能
- 15 (禁忌とされるため、行う者は滅多にいない)
- 16 ・五芒星……セーマンとも呼ばれる。陰陽道においては五行を表し、
- 17 それぞれの頂点を線で結ぶと『相克』となる。災厄から身を守り、
- 18 心身を清め続ける。